

洋野町内試掘調査報告書

風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査

(2020年度調査)

2022.3

岩手県洋野町教育委員会

洋野町内試掘調査報告書

風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査

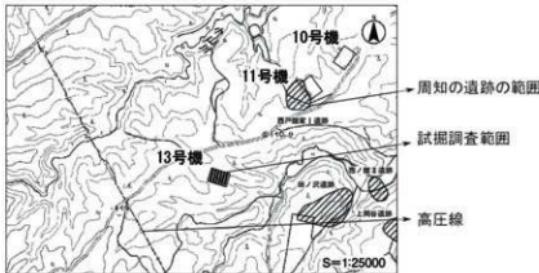
(2020 年度調査)

例　　言

1. 本報告書は、岩手県九戸郡洋野町内において実施される風力発電事業に伴う事前の埋蔵文化財確認試掘調査結果を収録したものである。
2. 試掘調査に係る費用は事業主にご負担いただいた。事業主は次の通りである。
洋野風力開発株式会社
3. 試掘調査は、洋野町教育委員会が主体として実施したもので、株式会社四門が調査支援業務を行った。
調査責任者：千田政博（洋野町教育委員会）
調査員：竹内俊之、福村晃嗣 調査補助員：田中雄大（株式会社四門）
4. 本書の編集・構成は竹内、田中が行い、執筆については第Ⅰ・Ⅲ章を千田、第Ⅱ・Ⅳ章を田中、第V章を千田、田中が担当した。
5. 第Ⅲ章「洋野町内の遺跡」については、令和3年（2021）4月時点での「岩手県遺跡台帳」に基づくものである。
6. 試掘調査作業において、下記の方々にご協力をいただいた。（五十音順、敬称略）
岩谷タミ、川戸ちせ、館野カツエ、館野孝子、館野隆、塙野忠男、有限会社薩摩建設
7. 報告書作成に際して、下記の方々にご協力をいただいた。（五十音順、敬称略）
石井夏樹、春日貴明、木田いずみ、金城真理子、田中竜星、辻弘和、績石貴子、横山香
8. 基準点の測量は、株式会社北山測量設計に委託した。
9. 調査で得られた出土遺物・諸記録等については、洋野町教育委員会で保管・管理している。
10. 引用・参考文献は文末に収めた。

凡　例

1. 第1図・第2図・第9図は、国土地理院発行の50,000分の1の地形図を複写して使用した。
2. 第IV章の調査結果に掲載した地形図は、国土地理院発行の25,000分の1の地形図を複製・加筆・修正して使用した。



目 次

例言	
凡例	
I . 試掘調査に至る経過	2
II . 試掘調査の概要	2
III . 洋野町内の遺跡	3
IV . 試掘調査結果	22
<第4次試掘調査>	
風力発電4号機	22
風力発電6号機	22
風力発電10号機	23
風力発電13号機	23
風力発電14号機	24
風力発電15号機	24
風力発電19号機	25
<第5次試掘調査>	
風力発電8号機	25
風力発電9号機	26
風力発電21号機	26
風力発電26号機	27
風力発電29号機	27
V . 試掘調査のまとめ	34
報告書抄録	

表目次

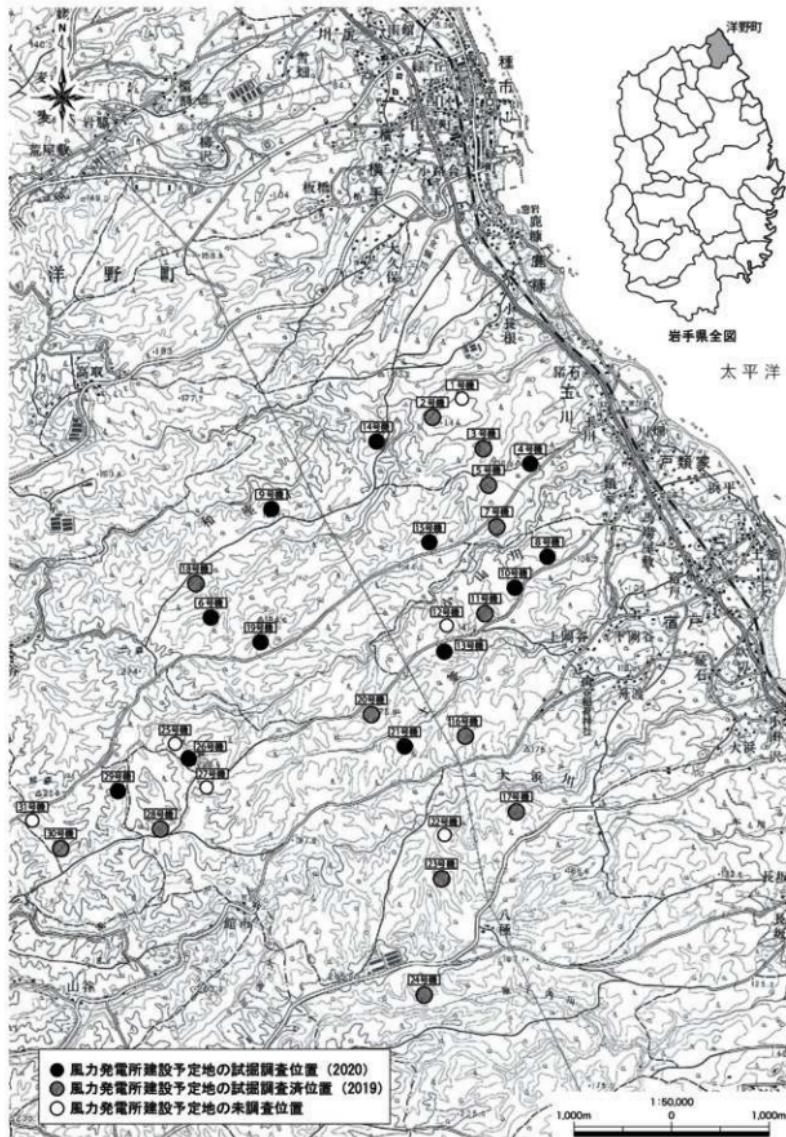
第1表 町内の遺跡一覧（1）	10	第1表 町内の遺跡一覧（8）	17
第1表 町内の遺跡一覧（2）	11	第1表 町内の遺跡一覧（9）	18
第1表 町内の遺跡一覧（3）	12	第1表 町内の遺跡一覧（10）	19
第1表 町内の遺跡一覧（4）	13	第1表 町内の遺跡一覧（11）	20
第1表 町内の遺跡一覧（5）	14	第2表 試掘調査結果一覧	35
第1表 町内の遺跡一覧（6）	15	第3表 出土遺物観察表（土器）	39
第1表 町内の遺跡一覧（7）	16	第4表 出土遺物観察表（石器）	39

図版目次

第 1 図 試掘調査位置図	1	第 6 図 深掘土層序（19号機・8号機）	31
第 2 図 町内遺跡分布図	9	第 7 図 深掘土層序（9号機・21号機）	32
第 3 図 深掘土層序（4号機・6号機）	28	第 8 図 深掘土層序（26号機・29号機）	33
第 4 図 深掘土層序（10号機・13号機）	29	第 9 図 新規発見の遺跡位置図	36
第 5 図 深掘土層序（14号機・15号機）	30		

写真図版目次

写真図版 1 出土遺物	37	写真図版 9 第4次試掘調査	46
写真図版 2 出土遺物	38	写真図版 10 第4次試掘調査	47
写真図版 3 第4次調査地全景	40	写真図版 11 第4次試掘調査	48
写真図版 4 第4次調査地全景	41	写真図版 12 第4次試掘調査	49
写真図版 5 第4次調査地全景	42	写真図版 13 第4次・第5次試掘調査	50
写真図版 6 第4次・第5次調査地全景	43	写真図版 14 第5次試掘調査	51
写真図版 7 第5次調査地全景	44	写真図版 15 第5次試掘調査	52
写真図版 8 第5次調査地全景	45		



第1図 試掘調査位置図

I. 試掘調査に至る経過

試掘調査は、洋野風力開発株式会社による風力発電事業に伴い実施されたものである。事業計画では洋野町内の31箇所に風車を建設するもので、平成30年9月6日、事業者から洋野町教育委員会教育長あてに事業地の埋蔵文化財包蔵地の所在について照会があり、事業地内の掘削面積や建設数を踏まえ、分布調査が必要であるとの回答をした。その後同年10月5日、分布調査の依頼書が提出され、事業地を確認したところ、地形等の状況から全ての建設予定地において埋蔵文化財確認試掘調査が必要であるとの回答をした。

平成31年3月29日、事業者より洋野町教育委員会教育長あてに試掘調査依頼書が提出され、各風車建設工事箇所の7,000m²を対象に試掘調査に着手した。令和元年度は、3次に渡り13箇所の試掘調査を実施した。詳細は洋野町埋蔵文化財調査報告書第10集『洋野町試掘調査報告書』に記載のとおりである。

令和2年度は、令和2年7月8日、埋蔵文化財確認試掘調査の依頼書が提出され第4次の試掘調査に着手し、7箇所の試掘調査を実施した。その後、同年9月7日、第5次試掘調査の依頼書が提出され、5箇所の試掘調査を実施した。概要は下記のとおりである。

（第4次試掘調査）期間：令和2年7月29日～同年9月9日　試掘箇所：風車番号4号機、6号機、10号機、13号機、14号機、15号機、19号機　計7箇所　調査面積各7,000m²

（第5次試掘調査）期間：令和2年9月28日～同年11月13日　試掘箇所：風車番号8号機、9号機、21号機、26号機、29号機　計5箇所　調査面積各7,000m²

調査の結果、第4次試掘調査の全7箇所、第5次試掘調査の9号機を除く4箇所の建設予定地において、遺構が検出された。

II. 試掘調査の概要

今回の試掘調査は、31箇所の建設予定地の内、12箇所について実施した。1箇所あたりの調査対象面積が7,000m²（100 m × 70 m）で、調査地内に幅1.5m、長さ23 m～87 mのトレンチ（試掘坑）を設定した。トレンチは重機により表土掘削後、鋤簾等を用いて人力により遺構の確認を行った。また、トレンチ内の壁についても、樹木根及び草根を除去し、縫隙簾や両刃鎌等を用いて壁面での遺構の確認にも努めた。

トレンチは地形等を考慮しながら任意により設定したもので、掘削は遺構確認面の地山（八戸火山灰層上位面相当）までとした。

遺構確認作業と並行して検出された遺構プラン等を作図した。遺構名については、溝状土坑（陥れ穴状遺構）、木炭窯跡のように特定できるものは名称を付したが、木根の痕跡や現代までのくずなどがあり、遺構と判断することが難しく、精査が必要と判断したものは、土坑類も含めて全て不明遺構とした。

各調査地内には土層序観察のための深掘りを行い、堆積状況を観察し、各土層の注記をした。記録写真は35mmデジタル一眼レフカメラを用いて撮影し、調査終了後は無人航空機（ドローン）による空中撮影を行った。

III. 洋野町内の遺跡

洋野町内に所在する遺跡は、令和3年(2021)4月現在、岩手県遺跡台帳に243遺跡が登録されている。平成23年(2011)以降、三陸沿岸道路建設や再生可能エネルギー事業等に係る試掘調査により新規発見の遺跡が増加している。

町内遺跡詳細分布調査は、旧種市町が行った平成16年度(2004)の角の浜・伝吉・平内・麦沢(姥沢)地区的分布調査のみである。旧大野村分についても実施しておらず、町内には未発見の遺跡が多く所在するものと想定される。町内の発掘調査は岩手大学草間俊一氏により昭和30年(1955)から昭和36年(1961)にかけて遺跡の踏査と発掘調査が行われたのが最初であるが、その後平成25年度(2013)までの調査事例は数件にとどまっていた。平成26年度(2014)以降、三陸沿岸道路建設等に伴う本発掘調査により調査事例が急激に増加したもの、町内に所在する遺跡の様相については不明な部分が多い。

旧石器時代の遺跡として、中野地区の尺沢遺跡(222)が登録されている。同遺跡は令和元年度(2019)、久慈地区汚泥再生処理センター建設工事に係る洋野町教育委員会による発掘調査で、ナイフ形石器が出土している。その他にも『角川日本地名大辞典3 岩手県』には、"鉄山遺跡"と未登録遺跡の記載があり、いずれも高館火山灰層最上部から旧石器が発見されたとあるが、詳細は不明である。

縄文時代の遺跡数は、全体の7割以上を占める。草創期の遺跡として板橋II遺跡(221)、鹿糠浜I遺跡(198)があり、いずれも爪形文土器が出土している。板橋II遺跡は、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下岩手県埋蔵文化財センターに略称する)による令和元年度(2019)の調査において出土したものである。爪形文が矢羽根状に並ぶことから、八戸市黄壁遺跡で出土した爪形文土器に近いものとみられる。

早期の遺跡として、ゴッソー遺跡(20)、大宮II遺跡(47)、大宮I遺跡(48)、宿戸遺跡(199)、中野城内遺跡(203)、尺沢遺跡(222)などがある。旧石器が出土した尺沢遺跡では、日計式の押型文土器が出土し、同時期とみられる石器も出土している。また、岩手県埋蔵文化財センターによる平成6年度(1994)のゴッソー遺跡発掘調査では日計式土器、魚骨回転文土器等が出土している。

貝殻文の土器が出土した事例は古く、昭和36年(1961)の草間氏による大宮遺跡の発掘調査時に出土したものが、岩手県で初めて復元された貝殻文の尖底土器と報告がある。宿戸遺跡(199)では、岩手県埋蔵文化財センターによる平成28年度~30年度(2016~2018)の調査で、早期中業~前期前業の堅穴住居跡が多数検出され、白浜式から寺の沢式までの土器が多く出土した。白浜式土器は中野城内遺跡(203)の調査でも出土している。

前期の遺跡として、ゴッソー遺跡(20)、上のマッカ遺跡(43)、北ノ沢I遺跡(163)、鹿糠浜I遺跡(198)、宿戸遺跡(199)、小田ノ沢I遺跡(200)、田ノ端II遺跡(209)などがある。ゴッソー遺跡は早期~晚期の縄文土器が出土しているが、前期初頭の遺物量が多く、特に平成6年度(1994)の本発掘調査で出土したコンバス文土器や押型文土器は岩手県で初めての出土とみられる。鹿糠浜I遺跡では、岩手県埋蔵文化財センターによる平成29年度~30年度(2017~2018)の調査で、前期初頭~前業にかけての土器が多量に出土した。また、北ノ沢I遺跡の調査では、円筒下層d2式から上層b式にかけての土器の捨て場であることが確認された。

中期の遺跡として、千敷平遺跡(4)、ゴッソー遺跡(20)、上のマッカ遺跡(43)、北ノ沢I遺跡(163)などがある。平成27年度(2015)洋野町教育委員会によるゴッソー遺跡の本発掘調査では、中期初頭の堅穴住居跡が1棟発見され、三重の入れ子にした土器埋設炉と単体の土器埋設炉が並列した状態で出土した。その入れ子の土器埋設炉の中からヒエの胚乳が検出されている。

後期の遺跡として、平内II遺跡(65)、上水沢II遺跡(92)、西平内I遺跡(185)、南川尻遺跡(194)、サンニヤI遺跡(195)、北鹿糠遺跡(196)、下向I遺跡(202)、続石遺跡(213)、サンニヤIII遺跡(218)などがある。町内では、縄文時代後期の遺跡が最も多く、溝状土坑(陥し穴状遺構)と後期前業の土器が出土する遺跡が多数を占

める。平内Ⅱ遺跡は洋野町教育委員会により、平成11年度(1999)から平成25年度(2013)の間、延べ6箇年発掘調査が行われた。屋外炉、集石、焼土遺構、溝状土坑が検出されており、出土した土器は主に後期前葉に位置付けられる。上水沢Ⅱ遺跡は平成12年度(2000)の岩手県埋蔵文化財センターによる調査で、後期前葉～後葉の竪穴住居跡が11棟発見された。

西平内Ⅰ遺跡(185)では、平成26年度・27年度(2014・2015)の三陸沿岸道路建設に伴う発掘調査において、集石群59基、弧状の石列1基、整地層2枚、掘立柱建物跡5棟、竪穴住居跡5棟、竪穴状遺構1基の他、埋設土器、焼土遺構、炉跡などが発見された。その後、令和元年度(2019)の洋野町教育委員会によるトレンチ発掘調査により、弧状の石列が環状石列であることが明らかになった。同遺跡は平成30年(2018)に町史跡に指定されている。

なお、三陸沿岸道路建設事業に伴う発掘調査が行われた遺跡で、後期に属する竪穴住居跡が検出された遺跡は、上のマッカ遺跡(43)、西平内Ⅰ遺跡(185)、南川尻遺跡(194)、サンニヤⅠ遺跡(195)、北鹿轍遺跡(196)、鹿轍浜Ⅱ遺跡(197)、鹿轍浜Ⅰ遺跡(198)、宿戸遺跡(199)、北玉川Ⅰ遺跡(208)、小田ノ沢Ⅰ遺跡(200)、南鹿轍Ⅰ遺跡(206)、板橋Ⅱ遺跡(221)があり、ほとんどが前葉のものである。宿戸遺跡では前葉の他に中葉・後葉のものも検出されており、南川尻遺跡は後葉のみである。

晩期の遺跡として、たけの子遺跡(21)、大平遺跡(32)、ニサクドウ遺跡(58)、戸類家遺跡(61)、田ノ沢遺跡(63)などがある。特にたけの子遺跡は町内で晩期を代表する遺跡である。昭和36年度(1961)、岩手県遺跡台帳作成調査において、太平洋戦争時間櫓の際には多数の土器が出土し、その後植林はされたが包含層は良好で重要な遺跡との報告がある。洋野町立種市歴史民俗資料館収蔵の考古資料の多くはこの遺跡からの出土である。戸類家遺跡は昭和32年(1957)に慶應義塾大学江坂輝彌氏による発掘調査が行われており、土器、石器の他に土偶が出土し、現在、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室に収蔵されている。また、昭和7年(1932)には岩手県史跡名勝天然記念物調査会委員であった小田島禪郎氏が旧種市町を訪れており、その時に採集された田ノ沢遺跡、八木貝塚(37)の出土遺物が岩手県立博物館に収蔵されている。

なお、貝塚遺跡としてホックリ貝塚(33)、八木貝塚(37)、小子内貝塚(40)、黒マッカ貝塚(41)がある。ホックリ貝塚では、洋野町の玉沢重作氏により岩手県で初めて縄文時代の製塙土器が発見された。海岸付近に位置する同貝塚は、昭和24年(1949)に行われた造船所の建設工事によりほぼ壊滅したとみられるが、製塙遺跡であった可能性がある。このほか縄文時代の製塙土器は、ゴッソー遺跡(20)の平成12年度(2000)岩手県埋蔵文化財センターによる発掘調査でコンテナ約1箱分出土している。洋野町立種市歴史民俗資料館には、たけの子遺跡(21)で採集された縄文時代の製塙土器片が多数収蔵されている。また、平成16年度(2004)の種市町内遺跡詳細分布調査において、南平内Ⅰ遺跡(182)より製塙土器片が縄文晩期の土器とともに発見された。同遺跡は現在の汀線まで約150mの距離であるが、時代によっては汀線付近であった可能性もある。遺跡の残存状況も良くないため詳細は不明であるが、位置から推測すると製塙を行った遺跡であることも考えられる。製塙土器は、鹿轍浜Ⅰ遺跡(198)の調査でも出土している。

弥生時代の遺跡として、大平遺跡(32)、大宮Ⅱ遺跡(47)、大宮Ⅰ遺跡(48)、平内Ⅱ遺跡(65)、上水沢Ⅱ遺跡(92)、北玉川Ⅰ遺跡(208)などがある。先述した平内Ⅱ遺跡では、平成25年度(2013)の調査で弥生時代前期後葉の竪穴住居跡が2棟検出されている。北玉川Ⅰ遺跡の調査では、中期後半の竪穴住居跡が4棟検出された。上水沢Ⅱ遺跡では弥生時代後期の竪穴住居跡が1棟検出され、土器がコンテナ約1箱分出土している。

古墳時代の遺跡については、南鹿轍Ⅰ遺跡(206)の発掘調査において、7世紀の竪穴住居跡が検出されている。また、袖山遺跡(38)では、剣形の石製模造品が表面採集されている。同品も玉沢重作氏により発見されたもので、長さ4.2cm、最大幅1.5cm、厚さは最大で4mm、重さは3.6g、石材は北上山地が産出地の蛇紋岩で、色調は暗緑灰色である。茎の表現が簡略化された二等辺三角形に三角形を付加した形状で、全体が丁寧に研磨されて、頭部には垂下孔とみられる径2mmの穿孔があり、表面は鎬が表現されている。形状から5世紀後葉より古い可能性がある。

る。袖山遺跡は標高約50mの海岸段丘上に立地し、主な時代は縄文時代であるが、石製模造品の他には当該期の遺物は発見されていない。昭和28年(1953)に東北大學伊東信雄氏が東北地方の石製模造品の集成を發表した「東北地方に於ける石製模造品の分布とその意義」により同品が紹介され知られるようになった。

奈良・平安時代の遺跡として、城内遺跡(11)、ニサクドウ遺跡(58)、二十一平遺跡(69)、八森遺跡(73)、鹿糠浜II遺跡(197)、サンニヤII遺跡(205)、館野遺跡(207)などがある。サンニヤII遺跡では、平成26年度・27年度(2014・2015)の岩手県教育委員会による発掘調査で、8世紀後半から9世紀前半の時期の堅穴住居跡が3棟検出されている。また、国道45号線種市登坂車線整備事業に伴い、岩手県埋蔵文化財センターにより平成28年度(2016)に調査が行われた八森遺跡でも8世紀代の堅穴住居跡が1棟検出されている。城内遺跡からは8世紀代と考えられる土師器の長胴甕、球胴甕、瓶、土師器坏が出土している。また、草間氏の『種市の歴史(原始～中世)種市町諸遺跡の調査報告』によるとニサクドウ遺跡で土製支脚、土師器坏が出土している。

なお、上のマッカ遺跡(43)の発掘調査において、土師器と製塙土器を伴う堅穴建物跡が検出されている。また、床面からは2基の炉跡が検出されており、土師器の年代から10世紀後半～11世紀の製塙工房とみられる。

平安時代の製塙土器は、二十一平遺跡(69)でも出土している。同遺跡は岩手県と青森県境を流れる二十一川の南側の汀線付近に位置する。海岸整地に伴う重機の掘削により遺跡の存在が明らかになり、平成15年度(2003)に新規登録された。製塙土器片、土製支脚片が多量に散布し、被熱したような円礫もみられた。現在までにコンテナで約5箱分が採集されている。遺跡の立地、発見された遺物の状況から製塙を行った可能性が高いが、保存状況は重機の掘削により一部破壊されていると考えられる。また、未登録の遺跡ではあるが、駒野智寛氏、相原淳一氏による古津波堆積層の調査に伴い海岸付近で採集された製塙土器もある。なお、古代の製塙土器は海岸から62kmの館野遺跡(207)でも採集されており、町内には縄文時代や古代の製塙土器、土製支脚を作った遺跡が多く所在することが予想され、製塙遺跡の発見や製塙土器の資料の増加が見込まれる。

主な中世の遺跡として、城館跡が27遺跡登録されている。城館の分布調査が昭和59年(1984)に岩手県教育委員会により行われているが、ほとんどが城主などの詳細が不明である。

種市の城内地区には種市氏の居城である種市城跡が所在する。種市氏は中世～近世初期に当地方を領有していた三戸南部氏(後の盛岡南部氏)の家臣である。『南部藩参考諸家系図』(以後系図)によれば、種市中務(実名不詳)が三戸南部氏24代晴政から種市村、蛇口村(軽米町)ならびに傍村賜り種市村に居住したとある。およそ16世紀半ば頃と推測されるが、それ以前のことは不明である。『奥南旧指録』には、三戸南部氏25代晴繼の股肱の臣として中務が久慈惣前らと名を連ねており、三戸南部氏の有力家臣であったとみられる。系図によると、種市中務の長男光徳は同じく中務と称した。光徳は三戸南部氏26代信直(初代盛岡藩主)から種市村ならびに傍村に600石を賜ったとある。『聞老遺事』によると、天正19年(1591)九戸政実の乱の際、信直方に属し18人の部下と鉄砲三挺、弓三張で参陣している。また、2代盛岡藩主利直の時に起きた慶長5年(1600)の岩崎合戦では、部下18人と参陣している。なお、系図には光徳の妻は根城南部氏(後の遠野南部氏)18代八戸政栄の弟新田政盛の娘であることが記されている。

その後光徳の長男孫三郎が家督を継いだ。『聞老遺事』によれば大坂夏の陣に出陣している。光徳と孫三郎父子は、初代盛岡藩主信直、2代盛岡藩主利直父子に仕え活躍した家臣であったが、孫三郎は3代盛岡藩主重直の時、罪ありということで禄を没収され、慶安2年(1649)に没している。

光徳の次男吉広は系図によれば、天正15年(1587)に初代盛岡藩主信直から閉伊口村(久慈市)を賜り住んでいたが、天正17年(1589)に蛇口村に替地を賜り、蛇口氏に姓を変えている。

岩手県遺跡台帳には、平時居住していた平城の種市城跡(16)と非常に立てこもったとされる山城の種市城跡(17)が登録されている。平城の種市城跡はJR八戸線種市駅より西へ約9kmに所在し、平城跡は現在でも馬場屋敷、的場、神楽屋敷など当時の名残と思われる地名が存在する。そこから南西へ約1kmに山城の種市城跡が位

置する。

天正18年(1590)、豊臣秀吉の朱印状により初代盛岡藩主信直が「南部内七郡」を安堵されると、八戸・九戸地方一帯は信直が直接支配することとなり、寛永4年(1627)に根城南部氏が伊達氏に対する備えを理由に遠野へ転封されると盛岡藩の直轄地になった。八戸には八戸城代が配置され、さらに八戸地方には八戸代官、九戸郡には久慈代官を派遣し支配にあたったようである。

寛文4年(1664)9月、3代盛岡藩主重直が跡継ぎを決めないままに死去した。同年11月、幕府は重直の次弟の重信と末弟の直房を呼び、盛岡藩10万石のうち8万石を重信に相続させ、残り2万石を直房に与え、新規に一藩をおこさせる処置を取った。寛文5年(1665)2月、盛岡藩より領地の配分が行われ、八戸を居城とし、三戸郡41箇村、九戸郡38箇村、志和郡4箇村、都合83箇村が付与された。八戸藩は、各村の支配のため通制という行政区画を用い、三戸郡には八戸廻・名久井通・長苗代通、九戸郡には軽米通・久慈通、志和郡には志和の行政区を設定し、各通には代官所を配置した。種市は八戸廻、大野は久慈通に属していた。

八戸藩の主な産業は、商業、林業、漁業、製塩業、製鉄業、造船業などがあり、特に製鉄は原料である砂鉄と燃料の薪炭材が豊富であったため盛んに行われた。製鉄に関する史料は八戸藩の藩庁の日記である「目付所日記」、「勘定所日記」、民間の史料では『晴山家文書』、『淵沢家文書』、『西町屋(石橋)文書』などがあり、様相を知ることができる。

製鉄の中心地は大野で、鉄山会所として日払所がおかれ、鉄山支配人が詰めて生産方を指揮した。天保9年(1838)には、大野の鉄山として玉川山、金取山、葛柄山、水沢山、大谷山、川井山、滝山の七山があった。『晴山家文書』の天保8年(1837)「寛政年中より拾書」に鉄山支配人の経緯が記されているが、晴山文史部から安永7年(1778)に初代晴山吉三郎へ受け継がれ、その後数人の支配人を経て、享和2年(1802)からは飛驒の浜谷(屋)茂八郎が引き継いだ。文政6年(1823)には、鉄山は藩営となり、石橋徳右衛門が支配人に就任して、その下支配人に二代目晴山吉三郎が就いた。さらに天保5年(1834)の百姓一揆後は、軽米の淵沢円右衛門が支配人を命じられ、天保9年からは江戸の美濃屋宗(惣)三郎(家臣名金子丈右衛門)へと移った経過が記されている。

近世の遺跡として町指定史跡の有家台場(46)がある。「目付所日記」によると、八戸藩では幕府から異国船警戒の命を受けて、寛政3年(1791)に鉄砲堅・目付御用掛を任命し、異国船の警戒に当たらせたようである。寛政5年(1793)の中里覚右衛門書き上げの「堅場」には「大堅」として鮫村、牛生、「小堅」として八太郎浦、湊浦、小船渡浦、有家浦、中野浦の名があげられている。藩の日記などには異国船の出没記録がいくつかあるが、目付所日記によると文政8年(1825)有家浦の沖合15里に異国船一隻が近寄り、伝馬船二隻を出して上陸の様子をみせたので、弓・鉄砲衆など計34人の藩士が同日に派遣されたことが記されている。その後、安政元年(1854)八太郎・湊場尻・館鼻・塩越・鮫・小船渡・有家・久慈湊に台場が築かれ、有家にも陣屋堅の役人が任命された。有家台場の現況は、八戸線の建設工事などで大部分が破壊されているものの、盛土遺構の一部が残存している。

製鉄関連の遺跡は、21箇所(旧種市町16箇所、旧大野村5箇所)登録されている。先述した七山の一つである大谷鉄山(26)は大谷地区にあり、鉄山操業により形成された集落とみられ、製鉄に関わった人々の子孫が多く居住している。製鉄関連の遺跡調査については、岩手県教育委員会の製鉄関連遺跡の詳細分布調査において、旧種市町5箇所、旧大野村35箇所の遺跡の所在を確認している。また、元野田村教育長、田村栄一郎氏によるたら遺跡の踏査によると、旧種市町は鉄山跡12箇所の他、密錢場跡や鍛冶場跡など15箇所、旧大野村については製鉄関連の遺跡42箇所と鍛冶場跡を調査した結果の報告『みちのくの砂鉄いまいすこ』がある。鉄滓が採集される遺跡が少なくとも60箇所以上にのぼり、未発見のものも含めると相当数になると考えられる。

なお、南八木遺跡(201)で古代～中世の製鉄関連の遺跡が発見された。少なからず近世以前のものも所在することが予想されるが、岩手県内製鉄関連遺跡調査事業に伴い当町を踏査した佐々木清文氏によると、ほとんどが近世のもので、それ以前のものは所在しても少数であろうとのご教示をいただいている。今後製鉄関連の詳細な

町内全域の分布調査を行い、製鉄関連遺跡分布図の作成、遺跡の登録作業が必要である。

製鉄以外の金・銀・銅・鉛山のいわゆる非鉄鉱業については、八戸藩の日記類に僅かにみられるが、盛岡藩領に比べ八戸藩領内には大きな金山はなく、小規模な金山がいくつかあるのみとみられる。『梅内家文書』の慶安2年(1649)の「砂金採取運上金請取状」によると、沢尻、雪畠、小手沢、野そうけ山に金山があったことが記されている。岩手県遺跡台帳には金山跡として、小手野沢金山(14)、ノソウケ金山(23)の2遺跡が登録されている。

＜引用・参考文献＞

- 伊東信雄 1953 「東北地方に於ける石製模造品の分布とその意義」『歴史第6輯』東北史学会
- 草間俊一 1963 『種市の歴史（原始・中世）種市町諸遺跡の調査報告』種市町役場
- 角川書店 1985 『角川日本地名大辞典3 岩手県』
- 岩手県教育委員会 1986 『岩手県中世城館分布調査報告書』岩手県文化財調査報告書第82集
- 田村栄一郎 1987 『みちのくの鉄製いまいぎこ』
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 1996 『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第238集
- 岩手県教育委員会 1998 『岩手の貝塚』岩手県文化財調査報告書第102集
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 2001 『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第357集
- 岩手県久慈地方振興局久慈農村整備事務所・(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 2002 『上木沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第391集
- 岩手県種市町教育委員会 2004 『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』種市町埋蔵文化財調査報告書第1集
- 岩手県種市町教育委員会 2005 『種市町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』種市町埋蔵文化財調査報告書第2集
- 岩手県教育委員会 2006 『岩手の製鉄遺跡』岩手県文化財調査報告書第122集
- 洋野町 2006 『大野村誌第二巻史料編1』大野村史編さん委員会
- 洋野町 2006 『種市町史第六巻通史編（上）』種市町史編さん委員会
- 岩手県洋野町教育委員会 2013 『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第1集
- 駒木智寛・相原淳一 2014 『岩手県における古津波堆積層と遺跡』『岩手考古学』第25号 岩手考古学会
- 岩手県洋野町教育委員会 2015 『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第2集
- (公財) 岩手県文化振興事業団 2015 『平成26年度発掘調査報告書 南川尻遺跡・下向遺跡・沼袋Ⅱ遺跡・沼袋Ⅲ遺跡・八幡沖遺跡 ほか調査概報（39遺跡）』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第647集
- 岩手県教育委員会 2016 『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成26年度復興関係）』岩手県文化財調査報告書第146集
- (公財) 岩手県文化振興事業団 2016 『平成27年度発掘調査報告書 サンニヤ遺跡・房の沢IV遺跡・白石遺跡 ほか調査概報（33遺跡）』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第661集
- 岩手県洋野町教育委員会 2017 『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第3集
- 岩手県教育委員会 2017 『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成27年度復興関係）』岩手県文化財調査報告書第149集
- 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団
- 2017 『西平内Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第673集
- (公財) 岩手県文化振興事業団 2017 『平成28年度発掘調査報告書 岩洞湖Ⅰ遺跡・柳樹IV遺跡・八森遺跡 ほか調査概報（28遺跡）』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第676集
- 岩手県教育委員会 2018 『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成28年度復興関係）』岩手県文化財調査報告書第152集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2018『北鹿賀遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 686 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2018『サンニヤ I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 687 集

(公財) 岩手県文化振興事業団 2018『平成 29 年度発掘調査報告書』岩洞湖 I・II 遺跡 和野新琴神社遺跡・北野 XIX 遺跡

木戸場遺跡 中野城内遺跡 沼里遺跡 根井沢穴田IV 遺跡 耳取 I 遺跡 千厩城遺跡

(ほか調査概報 (2) 遺跡) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 692 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『南鹿賀 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 697 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『上のマッカ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 698 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『小田 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 699 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『鹿鳴浜 II 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 702 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『南八木遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 703 集

岩手県洋野町教育委員会 2019『西平内 I 遺跡ハンドボーリング調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 4 集

岩手県洋野町教育委員会 2019『続石遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 6 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2020『サンニヤ III 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 714 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2020『田ノ端 II 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 715 集

久慈広域連合・岩手県洋野町教育委員会 2020『尺沢遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 8 集

岩手県洋野町教育委員会 2020『西平内 I 遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第 9 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2021『北ノ沢 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 725 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2021『宿戸遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 726 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

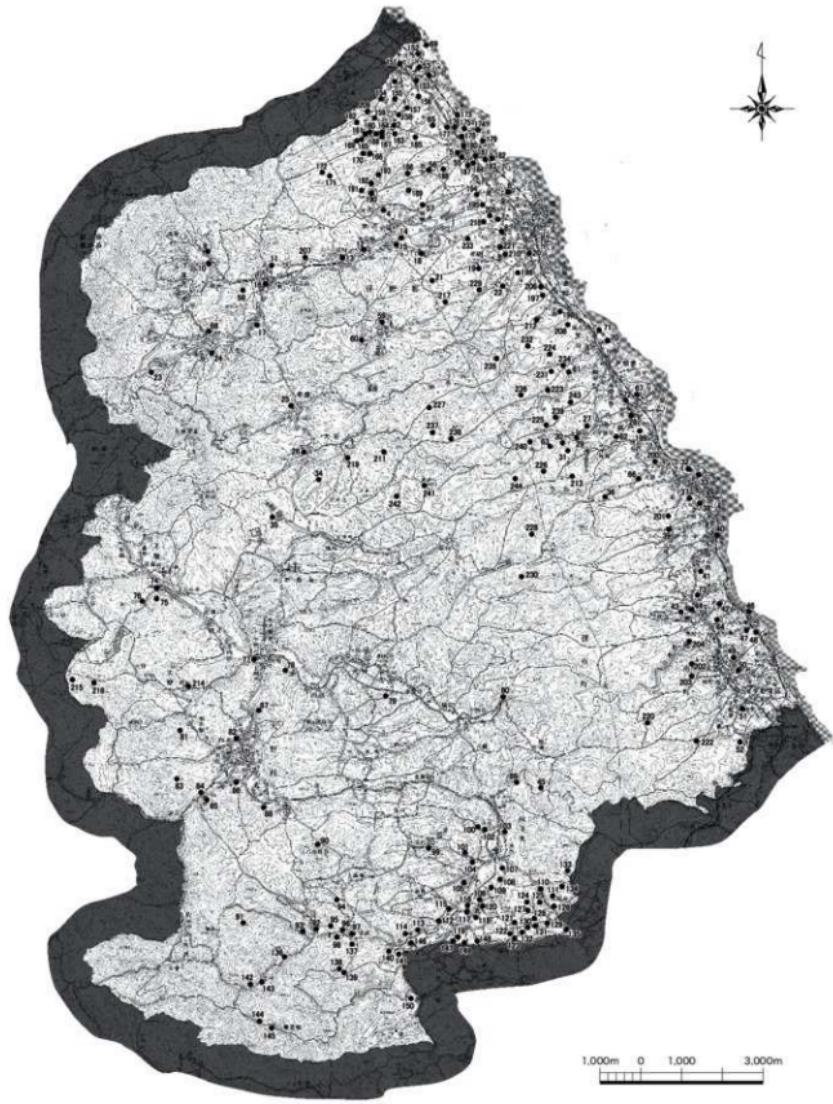
2021『鹿鳴浜 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 727 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2021『北玉川 II 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 728 集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2021『板橋 II 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 729 集



第2図 町内遺跡分布図

第1表 町内の遺跡一覧（1）

No.	遺跡名	通称名	性質	時代	遺跡・遺物	所在地	調査地図	調査年	備考
1	IPF2-1306	角浜	古墳時代	绳文・古代	绳文土器	横浜市緑区 上野原等	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	※4
2	IPF2-206	丘手1	人里(さといち)	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・削・輪・削)、削片石器、磨石石器、 石器等	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	※4
3	IPF2-166	角川1	かどがわいり	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・削・輪・削)、削片石器、磨石石器、 石器等	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	※4
4	IPF2-238	千葉平	せんじょうだいら	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・削・削)、6号、8号、 刮削器	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	※4
5	IPF4-170	甲子1	ひこないわい	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・削・削)、石器、削片	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	※4
6	IPF4-126	角川	みなみびて	城郭跡	中世	削片(鐵)	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	※4
7	IPF4-254	横手	よこて	散在地	绳文・古代	绳文土器(鉢形)、土器	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
8	IPF8-253	十の木	とこのき	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・鉢)	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
9	IPF8-633	兔毛	あらまげ	集落跡	绳文・古代	绳文土器(手形)、先端土器	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
10	IPF6-670	/発令前(人跡無)	はちまんどううだぐ	城郭跡	中世	削片、削器	横浜市緑区 横浜市緑区	人跡無より名前変更(昭和13年)	
11	IPF7-206	横内	よこうち	集落跡	绳文・古代	绳文土器(鉢形)、土器等	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
12	IPF7-229	鬼岩前(船舟前)	あらわきまへじ	城郭跡	中世	削片(鉢)	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
13	IPF7-265	船舟前	たののまへ	城郭跡	中世	手斧、削器、空穴	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
14	IPF7-630	小野(只見前)	このののとみまへ	砂利堆积跡	近世	石垣	横浜市緑区 横浜市緑区	小野山(只見より名前変更(昭和13年))	
15	IPF7-617	上野前	じょうのまへ	城郭跡	中世	削器、刮削器	横浜市緑区 横浜市緑区	削器のみ名前変更	
16	IPF7-623	横内(平城)	よこうち(ひらじやう)	城郭跡	中世	削片	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
17	IPF7-203	横内(山城)	よこうち(さんじやう)	城郭跡	中世	削片、平地	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
18	IPF8-630	小野(只見前)	このののとみまへ	城郭跡	中世	削片、平地	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
19	IPF8-616	鬼岩前	あらわきまへ	城郭跡	中世	手斧、削器	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
20	IPF8-341	ゴツツー	ごつそー	集落跡、 河床跡	绳文・ 古代	墨穴(手形)、扁平器、 小刀、土器、城大土器(手・鉢形)、削片等、 手斧等	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和6年(昭和12年) 江戸後期本塗瓦全	※1 ※10
21	IPF8-106	たけのひ	たけのひ	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・鉢形)、削片上部	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
22	IPF8-126	八ノ原	はちのはら	散在地	绳文・古代	绳文土器(手・鉢形)、石器、土器等	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
23	IPF6-156	ノウケ前	のうけまへ	砂利堆积跡	古代	630	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
24	IPF6-600	小野生前(チテコ)	このののむぎまへ	城郭跡	中世	手斧、削器、平地	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	
25	IPF6-133	赤坂前	わさかまへ	城郭跡	中世	手斧	横浜市緑区 横浜市緑区	昭和23年(昭和23年)	

第1表 町内の遺跡一覧 (2)

No.	遺跡名	通称名	主な文化	性質	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考
26	[1894]346 天元麻山	おおやべづざん	新石器遺	石器	良玉	縄文土器(灰陶), 石器	縄文72 - 74地 面	（平成大井町南山）	○
27	[1894]350 西ノ船 I	にしのねい	新石器遺	石器	縄文	縄文土器(灰陶), 石器	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
28	[1894]357 田代	たのくべづざん	新石器遺	中世	甲冑, 鋸齿, 平砂	縄文土器(灰陶), 石器	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
29	[1894]353 西ノ船	にしのねだて	新石器遺	中世	土器, 鋸齿, 平砂	縄文土器(灰陶), 石器, 土器	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
30	[1894]355 Wノ船 II	にしのねだてに	新石器遺	中世	土器, 鋸齿, 平砂	縄文土器(灰陶), 石器, 土器	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
31	[1894]345 上野谷	かみのねや	新石器遺	中世	土器, 鋸齿, 平砂	縄文土器(灰陶)	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
32	[1894]380 大平	おおひら	新石器遺	中世	土器, 余生	縄文土器(灰・褐色), 余生, 土器	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
33	[1894]383 小ヶ原塚	ほっこがはりづざん	片廻	縄文	古代	縄文土器, 緯織土器, 陶器, テラコッタ, 土器等	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
34	[1877]4051 鹿島山	はしきしまづざん	新石器遺	石器	既存		縄文77 - 8地層	既存	
35	[1877]4107 鹿島山	にごりしまづざん	新石器遺	石器	既存		縄文77 - 8地層	既存	
36	[1879]4023 小田の井田山	こだのいださん	新石器遺	石器	既存		縄文77 - 8地層	既存	
37	[1879]4051 八木井田	やぎいどさん	片廻	縄文	古代	縄文土器(灰陶), 陶器	縄文77 - 8地層	名称変更(平成元年度)	
38	[1879]4073 仙山	せでやま	新石器遺	石器	既存	縄文土器(灰・褐色), お智高文化(古御門文化)	縄文77 - 8地層	既存	
39	[1879]345 長瀬 I	ながせいかわ	新石器遺	石器	既存	縄文土器(灰・褐色)	既存	名称変更(平成元年度)	
40	[1879]358 小内田屋	こないちや	片廻	縄文	金物(鉛錠, 銀片, テラカッタ)	小内田屋5号地層			
41	[1879]341 鶴ヶ崎塚	つるがさきづざん	片廻	縄文	古代	縄文土器(灰陶), 石器, 土器等	有数2号地層		
42	[1894]339 月代江	むづかえ	新石器遺	石器	縄文	縄文土器(灰陶), 石器	有数3号地層		
43	[1894]340 上のマツカ	うのマツカ	新石器遺	中世	土器, 余生	縄文土器(灰陶), 余生, 土器	平成27年度・28年度 本格発掘	名称変更(平成23年度)	① 19
44	[1894]363 有畠	うりだて	新石器遺	中世	土器, 鋸齿, 平砂	縄文土器(灰陶)	有数5号地層	既存(既存開削)	
45	[1894]153 内川原山	あいがはらだりてのざん	新石器遺	石器	既存		小野寺7号地層		
46	[1894]366 有台地	うだいぢ	新石器遺	石器	既存		有数8号地層	既存(既存開削)	
47	[1894]366 大原丘	おおはらや	新石器遺	石器	既存		小野寺2号地層		
48	[1894]366 大原 I	おおはらや	新石器遺	石器	既存	縄文土器(灰陶), 余生, 土器	小野寺2号地層		
49	[1894]363 長瀬	ながせ	新石器遺	中世	土器, 鋸齿, 平砂	縄文土器	小野寺4号地層	既存(既存開削)	
50	[1894]366 中野(馬場・馬場山)	なかの	新石器遺	石器	既存		小野寺11号地層	既存(既存開削)	

No.	地番	通称名	主ながじな	主ながじわ	種別	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考	文庫
52	IPB640665	橋川	よじよしよせ	橋文	橋文	古代	橋文土器(一部破片)、石刀	小字豊田町西側	河岸帯から発見。縄文後半 - 銀河後半(平成23年夏)	④	文庫
53	IPB640672	アメ森	あいのもり	松毛地	松毛地	古代	橋文、灰土、 橋文土器(一部破片)、鐵文地輪状瓦 - 一枚生瓦 の上部、石器、土器	橋文地輪状瓦	北・片瀬町・豊田川沿い	-	文庫
54	矢ヶ島	-	-	-	-	-	-	-	-	④	文庫
55	IPB640694	平川道	ひらかわみち	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(小鉢)、磨石	橋文地輪状瓦	扇形変形(平成23年夏)	④	文庫
56	IPB640705	石巻	いしのまき	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(破片)、鉢形、櫛器、土器器	橋文地輪状瓦	扇形変形(平成23年夏)	④	文庫
57	IPB640703	原岡	はつおか	松毛地	松毛地	古文	石器	橋文地輪状瓦	扇形変形・砂質	-	文庫
58	IPB640705	ニヨウドウ	にょくじゆう	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(破片)、土器器、火器	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
59	IPB640723	高丸1	たかまる1	松毛地	松毛地	古文	橋文土器	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
60	IPB640729	高丸2	たかまる2	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(中・細削)	橋文地輪状瓦	扇形変形	④	文庫
61	IPB640742	日向家	ひむけ	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(破片)、土器	橋文地輪状瓦	扇形変形	④	文庫
62	IPB640713	角山1	かくさん1	松毛地	松毛地	古文	橋文土器	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
63	IPB640727	田ノ沢	たのさわ	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(破片)	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
64	IPB640728	角根	かくね	松毛地	松毛地	古文	橋文土器	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
65	IPB640727	平川道	ひらかわみち	松毛地	松毛地	古文	橋文土器、 石器、灰土、 石製品、瓦製品、灰土、土坑、土坑、 漆器、灰土、燒土、 漆器	橋文地輪状瓦 - 29cm、石器、 漆器、灰土 - 13cm - 25cm	平成11・13年冬、23 年間変形(平成23年夏)	③ - 6	文庫
66	IPB640719	大尻	おおじり	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(中鉢)	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
67	IPB640709	箱	はこ	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(中鉢)	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
68	IPB640705	大尻	おおじり	松毛地	松毛地	古文	橋文土器	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
69	IPB640606	二一一平	にじゅういちひら	松毛地	松毛地	古文	橋文土器、土器土瓶、土器器	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	④	文庫
70	IPB640611	玉川1	たまがわ1	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(中鉢)	橋文地輪状瓦	扇形変形地輪	-	文庫
71	IPB640628	玉川2	たまがわ2	松毛地	松毛地	古文	橋文土器(中鉢)	橋文地輪状瓦	扇形変形	-	文庫
72	IPB64126	所内1	ほしない	松毛地	松毛地	古文	橋文土器、 鉢形、灰土	橋文地輪状瓦	平成11年冬新規開発 所内変形(平成23年夏)	④	文庫
73	IPB640714	久藤	ひさとう	松毛地	松毛地	古文	橋文土器、 鉢形、灰土	橋文地輪状瓦	平成11年冬新規開発 久藤変形(平成23年夏)	④	文庫
74	IPB640718	田中2	たなか2	松毛地	松毛地	古文	橋文土器	橋文地輪状瓦	平成11年冬新規開発 田中2変形	-	文庫

第1表 町内の遺跡一覧 (3)

第1表 町内の遺跡一覧（4）

No.	遺跡名	遺跡名	性質	時代	遺跡・遺物	所在地	調査会社	備考	DMR
75	JF86-0127 田中	ひかわだ	散在地	绳文	绳文土器(破片)、石器	大字街223地頭			
76	JF86-0141 田中Ⅰ	ひかわだい	散在地	绳文	绳文土器(破片)、石器	大字街20地頭			
77	JF87-0185 田中Ⅱ	あいだい	城跡	中世	单孔、土器、陶片、平磚	大字街29地頭	昭和36年度調査		
78	JF87-1105 田中Ⅲ	ひかわだ	城跡	近世	瓦片	大字街26、37地頭			
79	JF87-2306 田中Ⅳ(新馬場)	ひかわだだて	城跡	中世	瓦片、单孔	大字街砂原	昭和36年度調査		
80	JF88-2851 まきはし新馬場	うしこましまくわしだて	城跡	中世	瓦片、平磚	大字街35地頭	昭和36年度調査		
81	JF89-0122 たひら組	たひらむち	たひらむち	城跡	瓦片、平磚	大字街13地頭	昭和36年度調査		
82	JF89-0182 丘原	ながわら	散在地	绳文	绳文土器(火・焼物)、石器	大字街72地頭			
83	JF90-1281 鹿鳴館	んぞうだ	城跡	中世	瓦片、陶片、平磚	大字街10地頭	昭和36年度調査		
84	JF90-2208 猛虎川	よしぎわらわに	散在地	绳文	石器、单孔	大字街4地頭			
85	JF90-2310 勝利川Ⅰ	よしぎわらわい	散在地	绳文	石器、单孔	大字街3地頭			
86	JF90-2315 大蛇原	おとねのひ	城跡	中世	瓦片	大字街5地頭	昭和36年度調査		
87	JF90-0112 ひとえこ	ひとえこ	城跡	中世	瓦片、陶片、平磚、空穴	大字街68、69地頭			
88	JF92-0055 金子沢	かなねざわ	散在地	绳文	绳文土器(瓦面)	大字街9地頭			
89	JF98-0299 河子木原	あこぎわ	城跡	中世	瓦片、陶片、空穴	河子木原4地頭	昭和36年度調査		
90	JF92-0106 高音	たかおん	散在地	绳文	绳文土器	大字街35地頭			
91	JF93-2863 上井川Ⅰ	かみいわせういち	散在地	绳文	绳文土器	大字街55地頭			
92	JF93-2386 上井川Ⅱ	かみいわせうに	散在地	绳文	绳文、单孔、 陶片、瓦片	大字街55地頭	昭和36年度本郷調査		❶ 2
93	JF93-2396 上井川Ⅲ	かみいわせうさん	散在地	绳文	绳文土器	大字街5地頭			
94	JF93-2394 高木Ⅰ	たかぎのい	散在地	绳文	绳文土器	大字街7地頭			
95	JF93-2722 上井川Ⅳ	かみいわせうよん	散在地	绳文	绳文土器	大字街7地頭			
96	JF93-2725 上井川Ⅴ(相馬組)	かみいわせうご	城跡	中世	单孔	大字街7地頭	昭和36年度調査		
97	JF93-2288 下井川Ⅰ	しもいわせわいかわ	散在地	绳文	绳文土器	大字街8地頭			
98	JF93-2294 上井川Ⅱ	かみいわせわいかわ	散在地	绳文	绳文土器	大字街7地頭			
99	JF94-0067 乾川	つみがい	散在地	绳文	绳文土器	大字街11地頭	昭和36年度調査		

第1表 町内の遺跡一覧（5）

No.	遺跡名	通称名	立地	性質	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考	登録
100	[FB8-0229] 田舎1	ひなごひな	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
101	[FB8-0206] 田舎鳥1	しゃくねしまさな	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
102	[FB8-0223] 田舎鳥	ひなたに	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
103	[FB8-0225] 河一本	あこぎ	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
104	[FB8-1016] 田舎鳥2	しゃくねしま	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
105	[FB8-106] 鹿島船1	えぞだいのいち	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
106	[FB8-199] 上舟鳥1	かみねじしまさな	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
107	[FB8-225] 二ノ舟	ふたねつや	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
108	[FB8-254] 田舎鳥3	しゃくねしまさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
109	[FB8-272] 田舎鳥N	しゃくねしまさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
110	[FB8-375] 二ノ舟内	ふたねじまわい	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
111	[FB8-388] 衣森1	うさぎぬま	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
112	[FB8-389] 衣森2	たかひらさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
113	[FB8-372] 大衣森	おおひらりさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
114	[FB8-383] 大衣森V (廻転船)	おおひらひらご	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
115	[FB8-311] 破壊	えぞだだ	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
116	[FB8-317] 田舎1	せきぐらいち	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
117	[FB8-327] 田舎1II	せきぐらいに	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
118	[FB8-346] 田舎2	かみねじしま	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
119	[FB8-394] 田舎鳥1	かみねじしまさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
120	[FB8-221] 田舎鳥1	かみねじしまさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
121	[FB8-269] 余塚1	いやざかひち	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
122	[FB8-287] 余塚2	いやざかさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
123	[FB8-286] 余塚3	いやざかさん	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
124	[FB8-301] 余塚V	いやざかご	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
125	[FB8-304] 余塚VI	いやざかわく	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			
126	[FB8-318] 衣森森2	うさぎぬま	散在地	古代	土器等		大字御守河原、 河内木原里南側			

No.	地名	通称名	えみがひな	種別	時代	遺構・遺物	所在地	調査対象	備考
127	[FB8-2822] 余水里	いやさかひな	散在地	绳文	绳文土器		西向ヶ原7号地		
128	[FB8-2833] 余水里	いやさかひな5	散在地	绳文	绳文土器		子承家		
129	[FB8-2835] 余水里	いやさかひな6	散在地	绳文	绳文土器		子承家		
130	[FB8-2837] 余水里X	いやさかひな7	散在地	绳文	绳文土器		子承家		
131	[FB8-2837] 余水里Y	いやさかひな8	散在地	绳文	绳文土器		子承家		
132	[FB8-2886] 余水里II	いやさかひな9	散在地	绳文	绳文土器		子承家		
133	[FB8-3022] 余水里III	いやさかひな10	散在地	绳文	石器		河内木場12号地		
134	[FB8-1061] 月森N	いよりやかひな1	散在地	绳文	绳文土器		河内木場12号地		
135	[FB8-3071] 余水里	いやさかひな	散在地	绳文	绳文土器		河内木場7号地		
136	[FB7-2406] 上木次		散在地	绳文	绳文土器 (鉢)		木曾川3号地		
137	[FB7-2428] 下木次II		散在地	绳文	绳文土器		木曾川9号地		
138	[FB7-2096] 金屋I	かなまほひな	散在地	绳文	縄の目柱、扇形		木曾川12号地		
139	[FB7-2997] 金屋II	かなまほひな	散在地	绳文	片手、片舟、扇形器、扇形器、扇形器		木曾川12号地		
140	[FB7-2432] 大塚I	おおむねひな5	散在地	绳文	绳文土器		木曾川10号地		
141	[FB7-2430] 大塚II	おおむねひな6	散在地	绳文	绳文土器		木曾川10号地		
142	[FB7-1022] 争I	おおむねひな7	散在地	绳文	绳文土器		木曾川2号地		
143	[FB7-1023] 争II	おおむねひな8	散在地	绳文	绳文土器		木曾川2号地		
144	[FB7-2000] 斎留日	あおむねはに	散在地	绳文	绳文土器 (鉢)		木曾川14号地		
145	[FB7-2027] 齋留	あおむねはに	散在地	绳文	绳文土器、石器		木曾川13号地		
146	[FB8-0002] 人跡II	おおむねひな8	散在地	绳文	绳文土器		木曾川2号地		
147	[FB8-0101] 布留地1	たいしょくひな1	散在地	绳文	绳文土器		留山地7号地		
148	[FB8-0108] 布留地2	たいしょくひな2	散在地	绳文	绳文土器		子承家		
149	[FB8-0106] 布留地3	たいしょくひな3	散在地	绳文	绳文土器		留山地7号地		
150	[FB8-0102] 大田	おおた	散在地	绳文	绳文土器		木曾川11号地		
151	[FB7-2367] 事山I	たいたなかやまひな	散在地	绳文	石斧		留山地4号地		④
152	[FB8-1042] 事山II	たいたなかやま2	散在地	绳文	绳文土器、陶器		留山地4号地		④
153	[FB8-2005] 丸山II	かどひかわひな	散在地	绳文	绳文土器		留山地39-40号地		④
154	[FB7-2345] 田ノ堀I	たのねひな1	散在地	绳文	绳文土器 (鉢)		留山地42号地		④

第1表 町内の遺跡一覧 (6)

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	調査結果	備考	文
155	IFSG-2566 家代 I	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
156	IFSG-2653 家代 II	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器 (漆器)	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
157	IFSG-2709 家代Ⅲ	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
158	IFSG-2807 家代 IV	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器、石器、敲石、骨器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
159	IFSG-2890 家代 V	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器、石器、敲石、骨器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
160	IFSG-2926 家代 VI	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
161	IFSG-3026 家代 VII	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
162	IFSG-3216 家代 VIII	さきはなづら	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
163	IFSG-3435 北・東V	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器、石器、骨器	櫛山田43地図	櫛山田43地図	●	4
164	IFSG-3333 北・東VI	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器、石器	櫛山田44・45地	櫛山田44・45地	●	4
165	IFSG-3206 北・東VII	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田44・45地	櫛山田44・45地	●	4
166	IFSG-3290 北・東VIII	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器 (漆器)、土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
167	IFSG-3344 北・東IX	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
168	IFSG-3491 北・東X	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
169	IFSG-3057 北・東XII	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
170	IFSG-2296 北・東XIII	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
171	IFSG-3125 北・東XIV	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
172	IFSG-3138 北・東XV	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
173	IFSG-3192 北・東XVI	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
174	IFSG-3127 北・東XVII	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器、土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
175	IFSG-3123 北・東XVIII	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
176	IFSG-3121 北・東XIX	あたのされいざん	散在地	绳文	绳文土器 (漆器)、土器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
177	IFSG-3110 北・東XV	あたひかないご	散在地	绳文	绳文、骨器	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
178	IFSG-3114 北・東XVI	あたひかないご	散在地	绳文	绳文土器、石器、敲石	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
179	IFSG-3158 北・東XVII	はまひかないご	散在地	绳文	绳文土器 (漆器)、石器、敲石	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4
180	IFSG-3174 平野	ひらなづら	散在地	绳文	绳文土器 (漆器)、石器、敲石	櫛山田45地図	櫛山田45地図	●	4

第1表 町内の遺跡一覧 (8)

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査地図	調査者	文考
181	IF86-049C 平成V	ひらかみや	散在地	縄文	縄文土器(陶器)、石斧、骨器	桂木山	桂木山33-5地圖		● 4
182	IF86-1200 甫弓川I	みなみらないわい	散在地	縄文	縄文土器(陶器)、骨器	桂木山33地圖	桂木山33地圖		● 4
183	IF86-119 甫弓川II	みなみらないわい	散在地	縄文	縄文土器(陶器)、石器	桂木山	桂木山33地圖		● 4
184	IF86-126 甫弓川III	みなみらないわい	散在地	縄文	縄文土器、骨器	桂木山	桂木山33地圖		● 4
185	IF86-004 西平内I	にしきらないわい	集落、有床跡	縄文、弥生	有床跡、円穴式住構、圓柱住構、施工住構、石斧、石器、骨器、陶器、瓦、土器	平成25年度、27年度 本掘査、28年度 発トボルリーン調査 令和十七年トボン ナ調査	桂木山33地圖	桂木山33地圖	● 4
186	IF86-006 西平内II	にしきらないわい	散在地	縄文	縄文土器(陶器)、石器	桂木山	桂木山34地圖		● 4
187	IF86-115 甫弓川I	ひらかみや	散在地	縄文	縄文土器、石斧、石器、骨器	桂木山	桂木山34地圖		● 4
188	IF86-008 甫弓川II	ひらかみや	散在地	縄文	縄文土器	桂木山	桂木山34地圖		● 4
189	IF86-009 甫弓川III	ひらかみや	散在地	不明	日光、瓦	桂木山	桂木山35地圖		● 4
190	IF86-390 甫弓川I	ひばさわい	散在地	縄文	縄文土器(陶器)、石斧、石器、骨器	桂木山	桂木山35地圖		● 4
191	IF86-286 甫弓川II	ひばさわい	散在地	縄文	縄文土器、石斧、石器	桂木山	桂木山36地圖		● 4
192	IF86-390 甫弓川III	ひばさわい	散在地	縄文	縄文土器	桂木山	桂木山36地圖		● 4
193	IF86-345 地原	ひばさわい	散在地	縄文	縄文土器(陶器)、陶器片、瓦、瓦スチール、石片	桂木山	桂木山37地圖		● 4
194	IF86-106 甫弓川IV	みなみかわし	集落跡、有床跡	縄文	有床跡、土器、施し穴式住構、施工、瓦、骨器、桂木山	平成26年度、28年度 本掘査	桂木山38地圖	平成25年度査定見	● 7
195	IF86-238 甫弓川V	さんかくね	集落跡、有床跡	縄文	有床跡、施し穴式住構、上社、施上、瓦器、骨器、桂木山	平成27年度、28年度 本掘査	桂木山38地圖	平成25年度査定見	● 9
196	IF86-286 北側	きたかた	集落跡、有床跡	縄文	施し穴式住構、瓦、瓦スチール、瓦、骨器、桂木山	平成27年度、28年度 本掘査	桂木山39地圖	平成25年度査定見	● 15
197	IF86-356 甫弓川VI	かみかみはまに	集落跡、有床跡	縄文、盒	施し穴式住構、施工、瓦器、骨器、桂木山	平成28年度本掘査	桂木山39地圖	平成25年度査定見	● 22
198	IF86-390 甫弓川I	かみかみはまに	集落跡	縄文	施し穴式住構、施工、瓦器、骨器、桂木山	平成28年度、30年度 本掘査	桂木山40地圖	平成25年度査定見、追査実見(平成29年度)	● 35

第1表 町内の遺跡一覧 (9)

No.	遺跡名	立地	種別	時代	調査結果	調査年	備考
189	勝野口一丁目	勝野口一丁目	遺跡	绳文、古墳、奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代、戦国時代、江戸時代、明治時代、昭和時代	縄文時代後半～昭和時代 木造遺構	平成25年度発見	平成25年度発見
200	1798-2025 墓山城内	二つの城のまわり	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器、灰陶、火打、灰陶、輪、竹筒、瓦、筒瓦等の土器、灰陶、灰、石器、骨器等の土器、灰陶、瓦等	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
201	1798-2127 墓山城内	みなみやぐら	施設跡、住居跡	縄文、古代	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器、灰陶、火打、灰陶、輪、竹筒、瓦、筒瓦等の土器、灰陶、瓦等	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
202	1798-2394 墓山城内	しもむねいじら	施設跡	縄文、共生	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、灰陶、瓦等	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
203	1798-2323 墓山城内	なみのとうなみ	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、土器、石器	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
204	1798-3222 墓山城内	くろさか	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器、灰陶、瓦等	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
205	1798-2201 墓山城内	さんにゆに	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器、灰陶、瓦等	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
206	1798-3333 墓山城内	みなみぬめいじら	施設跡、住居跡	縄文、古墳	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器、灰陶、瓦等	平成25年度本年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
207	1797-2014 越野	たての	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器	現穴開き跡 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
208	1799-2021 北東川1	きたたまがれいじら	施設跡	縄文、共生	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器	平成25年度前年度調査 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
209	1797-2345 田ノ瀬口	たぬかに	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、石器	現穴開き跡 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
210	1798-2426 東川内	あらつせいい	施設跡	縄文	現穴開き跡。アヌス貝付土器、灰陶、土器、灰陶等、土器等の土器	現穴開き跡 平成25年度本年度調査	平成25年度前年度調査
211	1797-2355 森・北1	まつざわいじら	施設跡	縄文	土坑、石器	現穴開き跡 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
212	1798-2312 墓山城内	かねむねしまさん	施設跡	縄文	現穴開き跡	現穴開き跡 平成25年度前年度調査	平成25年度前年度調査
213	1799-0012 桜石	つづくいし	施設跡	縄文	現穴開き跡。土坑、貝生遺物、土器等、灰陶、火打、灰陶、輪、竹筒、瓦、筒瓦等の土器、灰陶、瓦等	現穴開き跡 平成25年度本年度調査	平成25年度前年度調査
214	1798-2365 桜川	しんでん	施設跡	古墳	現穴開き跡 土器等	大正期 大正期	平成25年度前年度調査
215	1798-2355 一本松向1	いっぽんまつむらいじら	施設跡	縄文	現穴開き跡。土器等、灰陶、瓦等	大正期 大正期	平成25年度前年度調査
216	1798-2353 一本松向2	いっぽんまつむらいじら	施設跡	縄文	現穴開き跡、瓦等	大正期 大正期	平成25年度前年度調査

No.	遺跡名	通称名	種別	遺構・遺物	時代	所在地	調査目的	調査考
217	[1984]170 佐原 I	いなばいじや	特異跡	闕文	昭和後期	横出12号地	平成20年度新規発見、名称決定(令和元年春)	△
218	[1984]250 中二二七Ⅲ	さんごくさん	柱頭跡	闕文	昭和後期	横出12号地	平成20年度新規発見、測量測定	● 14 ● 27
219	[1987-2025] 東ノ井戸Ⅱ	まつせりけに	柱頭跡	不明	戦前	横出17号地	平成20年度新規発見	△
220	[1984]253 丹波Ⅱ	しもむちいに	柱頭跡	闕文	漢代-土居	小字船1番地	平成元年冬本塗調査	△
221	[1984]254 丹波Ⅲ	いなばいじ	柱頭跡、柱頭飾	闕文	秦代-漢代、高麗-奈良・平安・鎌倉・室町・李朝・江戸・昭和	横出12号地	平成20年度新規発見、測量測定	● 37
222	[1984]384 丹波	しめくぢ	柱頭跡、柱身	闕文	前漢-漢、後漢-三国、晋、北魏、北齊、北周、隋	横出12号地	平成元年冬本塗調査	△ 31
223	[1985]0265 佐川Ⅰ	みなみますがわらん	柱頭跡	闕文	漢代-土居、土壁、ビット	横出12号地	平成元年冬本塗調査	△ 30 ● 36
224	[1986]006 柏川Ⅲ	みなみますがわらん	柱頭跡、柱身	闕文	漢代-土居、不规则墙、绳状土层、砾石土层、石臼、她的	横出11-14号地	平成元年冬本塗調査	△ 38
225	[1988]386 百葉家 I	しめくぢいじや	柱頭跡	闕文、余生	土壁、闕文土器、余生土器	横出10号地	平成元年冬本塗調査	△ 38
226	[1988]394 黑田Ⅱ	ほばに	柱頭跡	闕文	漢代-土居、不规则墙	横出10号地	平成元年冬本塗調査	△ 38
227	[1988]4045 柏川Ⅳ	みなみますがわらん	柱頭跡	金目、平安	秦代-汉代、宋次郎器、上田器	横出11号地	平成元年冬本塗調査	△ 38
228	[1978]351 小舟ノ井Ⅱ	こだのすねに	柱頭跡	闕文	漢代-土居、闕文土器	横出10号地	平成元年冬本塗調査	△ 30 ● 36
229	[1978]1120 佐原Ⅲ	いたばいじさん	柱頭跡	闕文	漢代-土居、鐵子土器、石器	横出11号地	平成元年冬本塗調査	△ 38
230	[1978]269 長田Ⅲ	ながさかに	柱頭跡	闕文	漢代-土居	小字穴第1号地	平成元年冬本塗調査	△ 38
231	[1986]047 柏川Ⅴ	みなみますがわらん	柱身	闕文	横代11号地	平成2年冬本塗調査	△ 38 ● 39	
232	[1978]280 北川Ⅲ	あたたかわに	柱頭跡	闕文	漢代-土居	横出14号地	平成2年冬本塗調査	△ 38
233	[1978]015 佐原Ⅴ	いたばいじさん	柱身	闕文	横出12号地	平成2年冬本塗調査	△ 38	
234	[1986]239 柏川Ⅴ	みなみますがわらん	柱頭跡、柱身	闕文	漢代-土居、鐵子土器	横出11号地	平成2年冬本塗調査	△ 38 ● 39
235	[1986]0123 柏川Ⅴ	みなみますがわらん	柱頭跡	闕文	漢代-土居、鐵子土器	横出11号地	平成2年冬本塗調査	△ 38
236	[1986]1209 柏川Ⅵ	みなみますがわらん	柱頭跡	闕文	漢代-土居、木堂壁	横出11号地	平成2年冬本塗調査	△ 38
237	[1986]006 柏川Ⅶ	みなみますがわらん	柱身	闕文	土壁、闕文土器、石器	横出11号地	平成2年冬本塗調査	△ 38

第1表 町内の遺跡一覧 (10)

第1表 町内の遺跡一覧（11）

No.	遺跡名	遺跡名	種別	時代	遺跡・遺物	所在地	調査結果	参考
238	[1982-12] 前川区	みんながわこう	古墳跡	绳文	遺灰・灰、陶土器	標出地11地盤	令和2年度現況	DM
239	[1984-306] 西郷家Ⅱ	みんながわこう	古墳跡、散在遺物	绳文	遺灰・灰、陶土器、骨	標出地10地盤	令和2年度現況	
240	[1984-323] 前川町木1	にしょくひに	古墳跡	绳文	遺灰・灰	標出地8地盤	令和2年度現況	
241	[1978-045] 西郷家Ⅲ	みんながわこう	古墳跡	绳文	遺灰・灰、土坑、陶土器	標出地9地盤	令和2年度現況	
242	[1974-078] 西郷家Ⅳ	にしょくひさん	古墳跡	绳文	遺灰・灰、土坑	標出地10地盤	令和2年度現況	
243	[1984-022] 西郷家Ⅴ	にしょくひご	散在遺物	绳文	土坑	標出地10地盤	令和2年度現況	
244	[1978-022] 西郷	ばざさん	古墳跡	绳文	遺灰・灰	標出地7地盤	令和2年度現況	

（文献について、それぞれのように略す）

「※ 1」（財）岩手県文化振興事業団研究センター 1996・2001 「ゴソー遺跡発掘調査報告書」 岩手県文化振興事業団研究文化財調査報告書第238集・第257集
 「※ 2」 岩手県久慈地方振興局久慈農村整備事務所（他） 岩手県文化振興事業団研究文化財調査報告書第291集

「※ 3」 岩手県樫市町教育委員会 2004 「平成15年度発掘調査報告書」 樫市町埋蔵文化財調査報告書第1集
 「※ 4」 岩手県樫市町教育委員会 2005 「樫市町内遺跡発掘調査報告書」 樫市町埋蔵文化財調査報告書第2集
 「※ 5」 岩手県洋野町教育委員会 2013 「平成11年度発掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第1集

「※ 6」 岩手県洋野町教育委員会 2015 「平成21年度発掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第2集
 「※ 7」 （公財）岩手県文化振興事業団 2015 「平成26年度発掘調査報告書前川尾道路 下向遺跡」 沿袋Ⅱ遺跡 沿袋Ⅲ遺跡 /八幡山遺跡
 「※ 8」 岩手県教育委員会 平成28年3月 「岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成25年度 優勝賞）」 岩手県文化振興事業団埋藏文化財調査報告書第647集

「※ 9」 （公財）岩手県文化振興事業団 2016 「平成27年度発掘調査報告書 サニヤ遺跡 房の沢TV路 白石遺跡」 岩手県文化振興事業団埋藏文化財調査報告書第661集

「※ 10」 岩手県洋野町教育委員会 2017 「ゴソー遺跡発掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第3集
 「※ 11」 岩手県教育委員会 平成29年3月 「岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成27年度 優勝賞）」 岩手県文化財調査報告書第149集
 「※ 12」 岩手県教育委員会 三郎田遺跡 2017 「西平中1号路跡発掘調査報告書」 岩手県文化振興事業団「西平中1号路跡発掘調査報告書」 岩手県文化振興事業団埋藏文化財調査報告書第673集

「※ 13」 （公財）岩手県文化振興事業団 2017 「平成28年度発掘調査報告書」 岩手県文化振興事業団埋藏文化財調査報告書第152集
 「※ 14」 岩手県教育委員会 平成30年3月 「岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成28年度 優勝賞）」 岩手県文化財調査報告書第676集

- 「※15」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2018 「北陸新幹線全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 686 集
- 「※16」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2018 「伊・二二・一」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 687 集
- 「※17」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2018 下平道・北野街道・水戸街道・丹波路 1 「道跡・野原神社道跡」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 692 集
- 「※18」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「南施設1・2・3」道跡・免税施設全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 698 集
- 「※19」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「ローマーク道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 699 集
- 「※20」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「小田・足利道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 701 集
- 「※21」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「荒内道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 702 集
- 「※22」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2019 「施設所1・2・3」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 703 集
- 「※23」 岩手県教育委員会 2019 「南人道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 721 集
- 「※24」 岩手県洋野町教育委員会 2019 「西平内1・2・3・4」道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 722 集
- 「※25」 岩手県洋野町教育委員会 2019 「下平1・2・3・4」道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 723 集
- 「※26」 岩手県洋野町教育委員会 2020 「岩石道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団 2020 「十・二・一」道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 724 集
- 「※27」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2020 「伊・二・一」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 725 集
- 「※28」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2021 「前・中・後」道跡・沼沢地帯・古墳群の調査」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 727 集
- 「※29」 (公財) 岩手県文化振興事業団 2020 「令と元年度免税調査報告書」 上平1・道跡・手ぬぐい地帯・桂力塚(桂力塚)・10・酒殿」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 729 集
- 「※30」 岩手県洋野町教育委員会 2020 「南玉川1・2・3・4」道跡・小田・JR 五井道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 730 集
- 「※31」 久慈地域連合・岩手県洋野町教育委員会 2020 「久慈道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 8 集
- 「※32」 岩手県洋野町教育委員会 2020 「西平内1・2・3・4」道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 9 集
- 「※33」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2021 「北・日・三・一」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 725 集
- 「※34」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2021 「南・中・北」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 727 集
- 「※35」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2021 「池上・山」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 728 集
- 「※36」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2021 「北・玉・三・一」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 729 集
- 「※37」 国土交通省東北地方整備局三陸国道路事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2021 「板倉1・2」道跡全線調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 10 集
- 「※38」 岩手県洋野町教育委員会 2021 「洋野町内試験調査報告書」 岩手県文化振興事業団所管文化財調査報告書第 11 集
- 「※39」 岩手県洋野町教育委員会 2021 「北・玉川1・2」道跡・南・玉川1・2」道跡全線調査報告書」 洋野町所管文化財調査報告書第 11 集

IV. 試掘調査結果

《第4次試掘調査》風力発電4号機



【所在地】 洋野町種市第11地割字南玉川98番1

【現況】 山林

【標高】 約103m～約108m

【調査期間】 令和2年7月29日～8月4日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

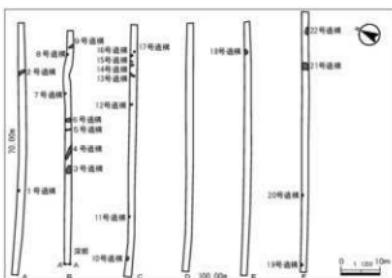
【調査面積】 約575m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線玉川駅から南西へ約1kmの小山川左岸の段丘上に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ60m～67mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。調査の結果、A、B、C、E、Fトレンチから構状土坑、不明遺構を検出した。Aトレンチからは遺物が出土した。Fトレンチ付近からも遺物を表面採集した。

【備考】 新規発見遺跡(南玉川V遺跡)

種別：狩猟場跡・散布地

時代：縄文時代



風力発電6号機



【所在地】 洋野町種市第11地割字南玉川112番1

【現況】 山林

【標高】 約179m～約183m

【調査期間】 令和2年8月11日～8月21日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

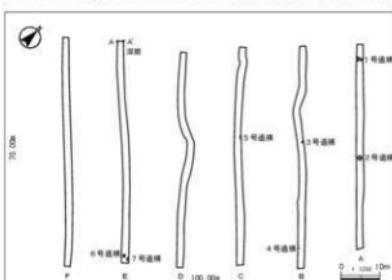
【調査面積】 約506m²

【調査概要】 本機は、計画変更により2019年度建設予定地から本調査地となった。調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西方へ約5.3kmの和座川と小山川に接続された段丘頂部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ52m～59mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。調査の結果、A、B、C、Eトレンチから不明遺構を検出した。A、Cトレンチから遺物が出土した。調査地内でも遺物を多枚表面採集した。

【備考】 新規発見遺跡(南玉川VI遺跡)

種別：散布地

時代：縄文時代



風力発電 10号機



【所在地】 洋野町種市第 10 地割字西戸類家 96 番 5

【現 況】 山林

【標 高】 約 114 m ~ 約 124 m

【調査期間】 令和 2 年 8 月 25 日 ~ 9 月 3 日

【対象面積】 7,000 m² (100 m × 70 m)

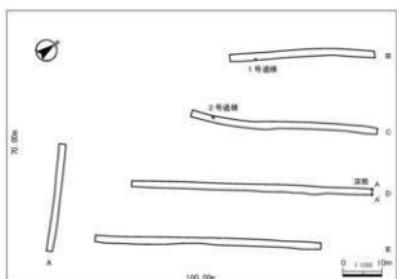
【調査面積】 約 348 m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線宿戸駅から西方へ約 2 km の小山川と土釜川に挟まれた段丘頂部に位置する。調査地内に幅 1.5 m、長さ 28 m ~ 62 m の試掘トレンチを 5 箇所 (A, B, C, D, E) 設定した。調査の結果、B, C トレンチから溝状土坑を検出した。C, D トレンチからは遺物が出土した。

【備 考】 新規発見遺跡 (西戸類家 II 遺跡)

種別：狩猟場跡・散布地

時代：縄文時代



風力発電 13号機



【所在地】 洋野町種市第 8 地割字南戸類家 73 番 2

【現 況】 山林

【標 高】 約 133 m ~ 約 137 m

【調査期間】 令和 2 年 9 月 1 日 ~ 9 月 9 日

【対象面積】 7,000 m² (100 m × 70 m)

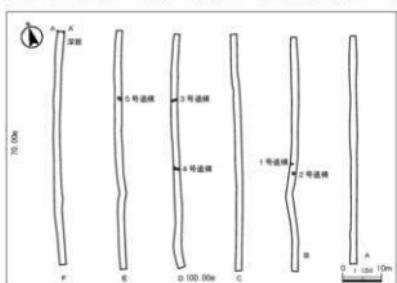
【調査面積】 約 540 m²

【調査概要】 調査地点は、JR 八戸線宿戸駅から西方へ約 2.6 km の小山川と土釜川に挟まれた段丘上に位置する。調査地内に幅 1.5 m、長さ 58 m ~ 61 m の試掘トレンチを 6 箇所 (A, B, C, D, E, F) 設定した。調査の結果、B, D, E トレンチから溝状土坑、不明構造を検出した。遺物は確認されなかつた。

【備 考】 新規発見遺跡 (南戸類家 I 遺跡)

種別：狩猟場跡

時代：縄文時代



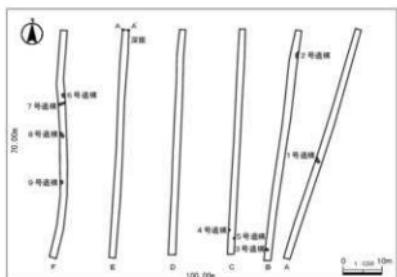
風力発電 14号機



【備考】 新規発見遺跡（南玉川VI遺跡）

種別：狩猟場跡・散布地

時代：縄文時代



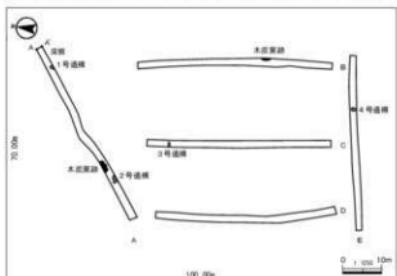
風力発電 15号機



【備考】 新規発見遺跡（南玉川VII遺跡）

種別：狩猟場跡

時代：縄文時代、近・現代



風力発電 19号機



【所在地】 洋野町種市第11地割字南玉川111番2

【現況】 山林

【標高】 約180m～約187m

【調査期間】 令和2年8月20日～8月25日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

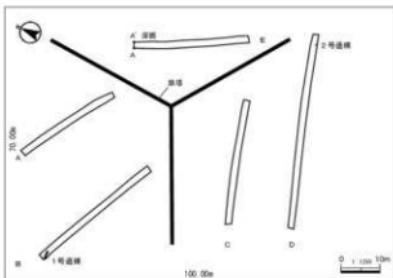
【調査面積】 約263m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西へ約4.6kmの和座川と小山川に挟まれた段丘頂部付近に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ28m～50mの試掘トレンチを5箇所(A、B、C、D、E)設定した。調査の結果、B、Dトレンチから構造土坑を検出した。調査地内で遺物を表面採集した。

【参考】 新規発見遺跡(南玉川IX遺跡)

種別：狩猟場跡・散布地

時代：縄文時代



《第5次試掘調査》風力発電8号機



【所在地】 洋野町種市第10地割字西戸類家96番1

【現況】 山林

【標高】 約118m～約121m

【調査期間】 令和2年10月12日～10月16日

【対象面積】 7,000m² (100m×70m)

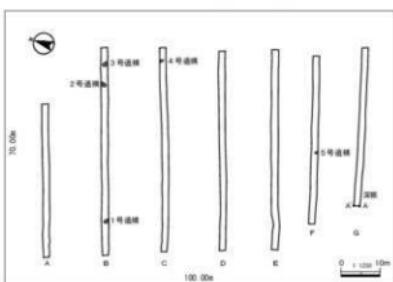
【調査面積】 約497m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西方へ約1.7kmの小山川左岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ39m～53mの試掘トレンチを7箇所(A、B、C、D、E、F、G)設定した。調査の結果、B、C、Fトレンチから不明遺構を検出した。遺物は確認されなかった。

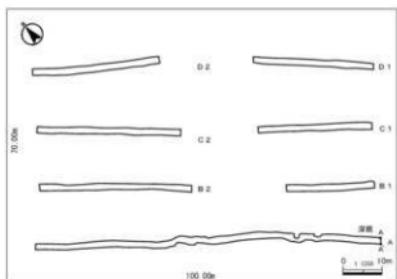
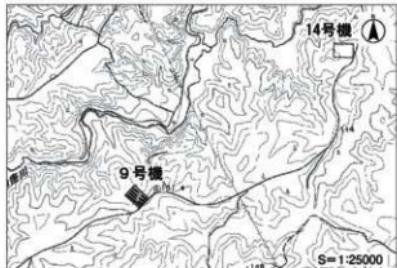
【参考】 新規発見遺跡(西戸類家V遺跡)

種別：散布地

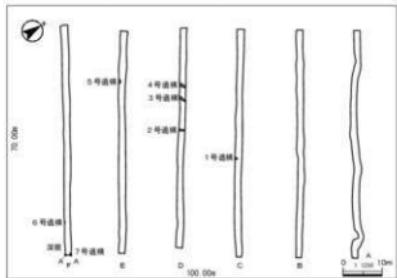
時代：縄文時代



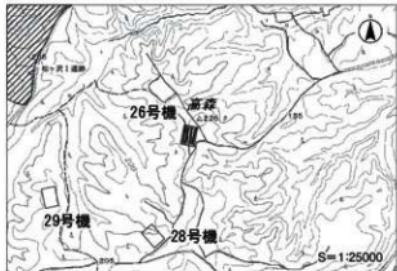
風力発電 9号機



風力発電 21号機



風力発電 26 号機



【所在地】 洋野町種市第10地割字西戸類家123番2

【現況】 山林

【標高】 約214m～約220m

【調査期間】 令和2年9月28日～10月1日

【対象面積】 7,000 m² (100m × 70m)

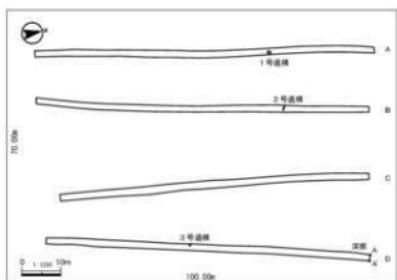
【調査面積】 約503 m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線陸中八木駅から西方へ約7kmの小山川右岸の段丘頂部付近に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ79m～87mの試掘トレンチを4箇所(A、B、C、D)設定した。調査の結果、A、B、Dトレンチから溝状土坑、不明遺構を検出した。調査地内で遺物を表面採集した。

【参考】 新規発見遺跡（西戸類家III遺跡）

種別：狩猟場跡・散布地

時代：縄文時代



風力発電 29 号機



【所在地】 洋野町種市第10地割字西戸類家123番1、2

【現況】 山林

【標高】 約210m～約214m

【調査期間】 令和2年10月5日～10月8日

【対象面積】 7,000 m² (100m × 70m)

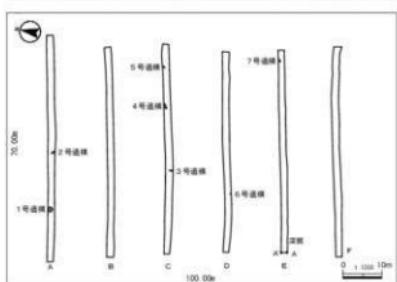
【調査面積】 約484 m²

【調査概要】 調査地点は、JR八戸線陸中八木駅から西方へ約7.8kmの小山川左岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ51m～58mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。調査の結果、A、C、D、Eトレンチから溝状土坑、不明遺構を検出した。遺物は確認されなかつた。

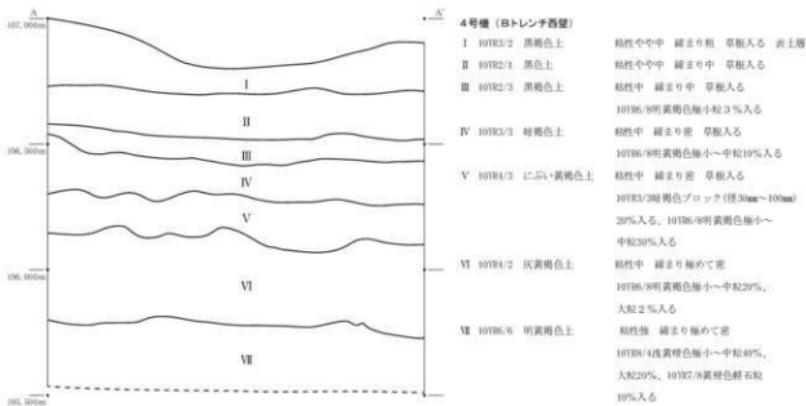
【参考】 新規発見遺跡（西戸類家IV遺跡）

種別：狩猟場跡

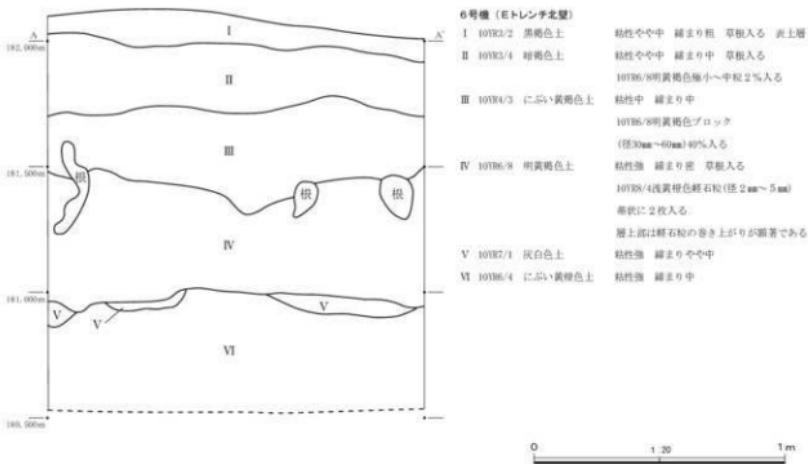
時代：縄文時代



4号機

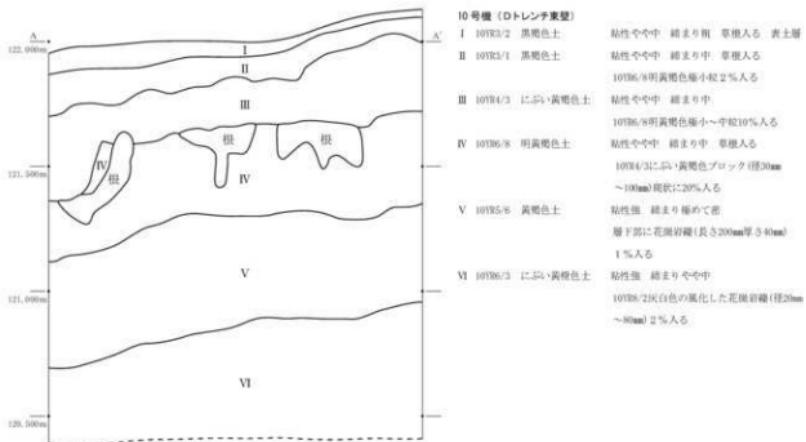


6号機

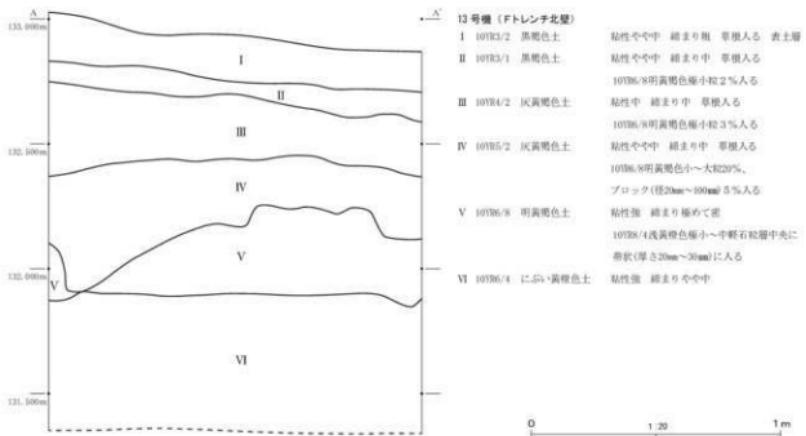


第3図 深掘土層序 (4号機・6号機)

10号機

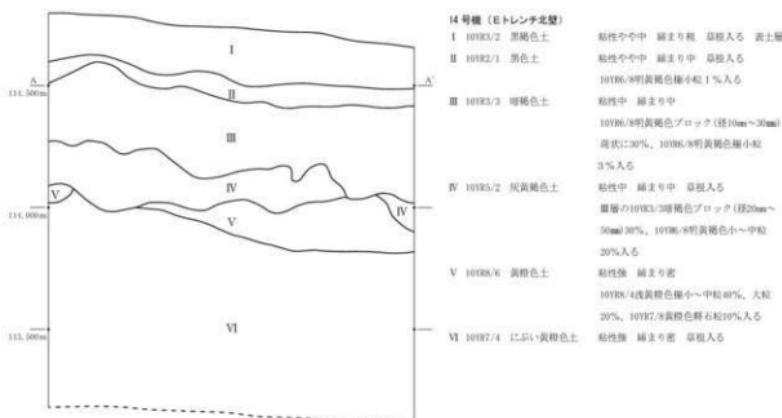


13号機

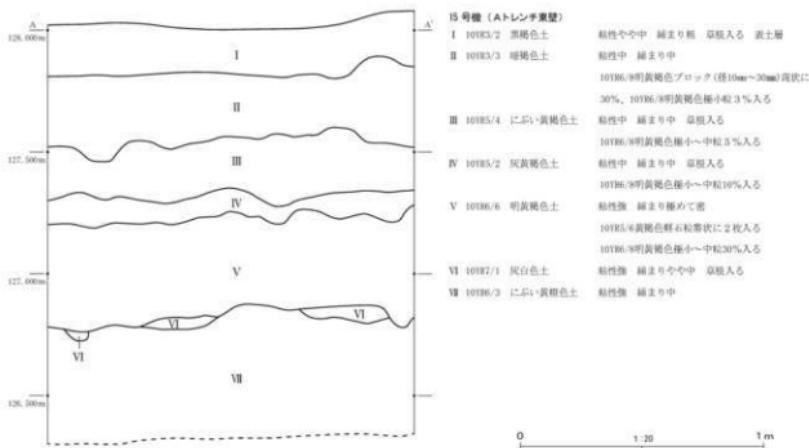


第4図 深掘土層序 (10号機・13号機)

14号機

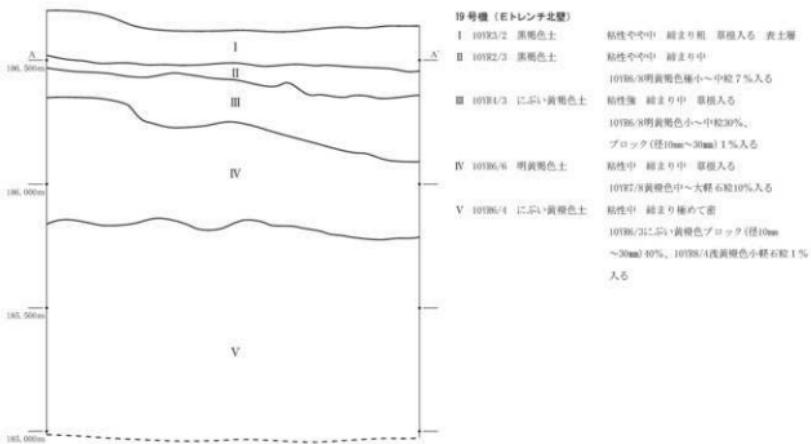


15号機

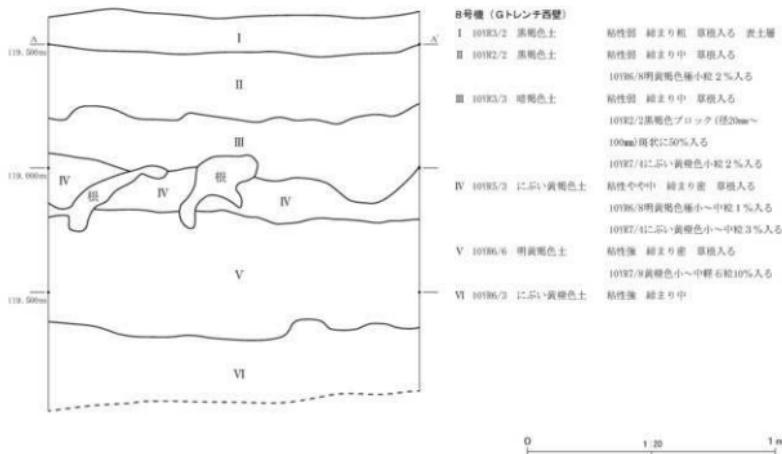


第5図 深掘土層序 (14号機・15号機)

19号機

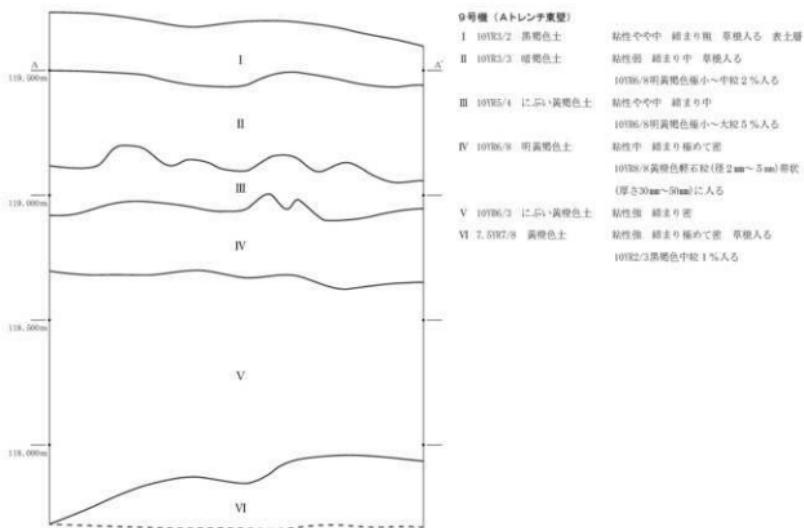


8号機

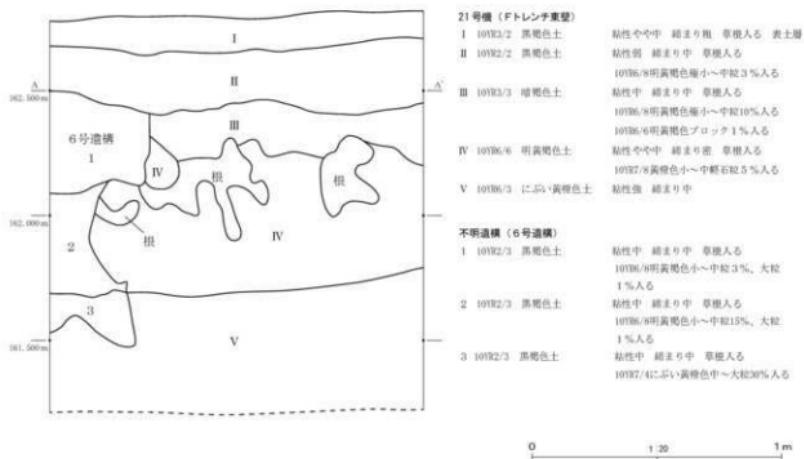


第6図 深掘土層序 (19号機・8号機)

9号機

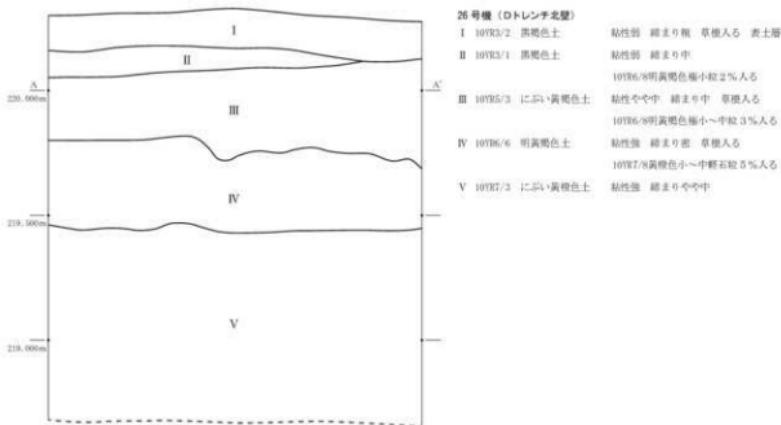


21号機

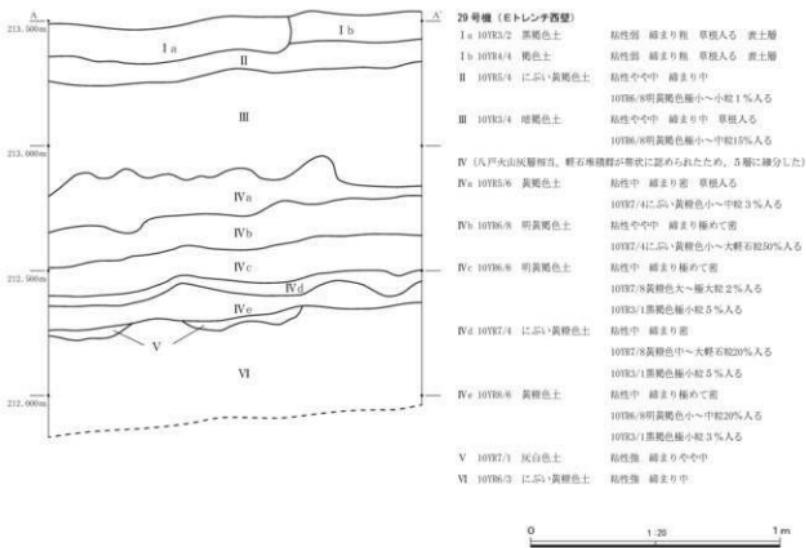


第7図 深掘土層序 (9号機・21号機)

26号機



29号機



第8図 深掘土層序 (26号機・29号機)

V. 試掘調査のまとめ

風力発電所建設予定地 12箇所の試掘調査結果を第 2 表にまとめた。9号機を除く 11 箇所で遺構が確認され、新規発見遺跡として登録された。全て縄文時代の遺跡で、そのうち 9 箇所からは溝状土坑が検出されており、狩猟場跡としての登録である。

遺構数が最も多かったのは、4号機建設予定地（南玉川 V 遺跡）である。新規発見遺跡としたが、隣接する戸類家遺跡の一部であることも考えられる。

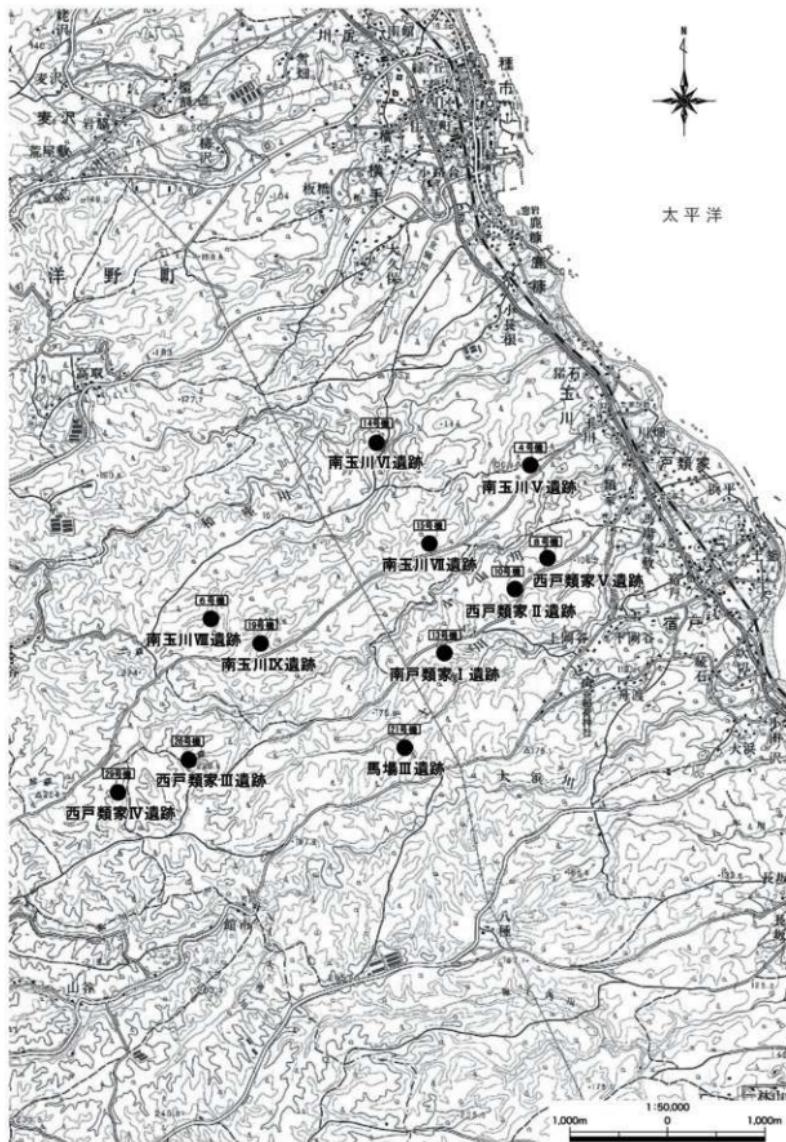
今回の試掘調査で堅穴住居跡の確認はできなかったが、6号機建設予定地（南玉川Ⅷ 遺跡）では、縄文時代後期前葉の土器、石器が多く量に表面採集され、トレンチ内からも出土していることから、遺跡内には住居跡が所在する可能性がある。

＜参考文献＞

岩手県洋野町教育委員会 2021 「洋野町内試掘調査報告書」 洋野町埋蔵文化財調査報告書第 10 集

風車番号	試掘調査結果 (遺跡名)	トレンチ の数量	検出遺構	出土遺物	土器数量	石器数量	備考
4号機	新規発見遺跡 (南玉川V遺跡)	6	溝状土坑5基 (4・5・6・9・13号遺構) 不明遺構17基 (1・2・3・7・8・10・11・12・ 14・15・16・17・18・19・20・ 21・22号遺構)	縄文土器 石器	1	1	第4次調査
6号機	新規発見遺跡 (南玉川Ⅵ遺跡)	6	不明遺構7基	縄文土器 石器	375	15	第4次調査
8号機	新規発見遺跡 (西戸類家V遺跡)	7	不明遺構5基	-	-	-	第5次調査
9号機	-	7	-	-	-	-	第5次調査
10号機	新規発見遺跡 (西戸類家Ⅵ遺跡)	5	溝状土坑2基	石器 剥片	-	2	第4次調査
13号機	新規発見遺跡 (西戸類家I遺跡)	6	溝状土坑3基 (3・4・5号遺構) 不明遺構2基 (1・2号遺構)	-	-	-	第4次調査
14号機	新規発見遺跡 (南玉川VI遺跡)	6	溝状土坑2基 (7・8号遺構) 不明遺構7基 (1・2・3・4・5・6・9 号遺構)	縄文土器	4	-	第4次調査
15号機	新規発見遺跡 (南玉川VII遺跡)	5	溝状土坑1基 (3号遺構) 不明遺構3基 (1・2・4号遺構) 木炭窯跡2基(近・現代)	-	-	-	第4次調査
19号機	新規発見遺跡 (南玉川IX遺跡)	5	溝状土坑2基	縄文土器	2	-	第4次調査
21号機	新規発見遺跡 (馬場III遺跡)	6	溝状土坑3基 (2・3・4号遺構) 不明遺構4基 (1・5・6・7号遺構)	-	-	-	第5次調査
26号機	新規発見遺跡 (西戸類家III遺跡)	4	溝状土坑2基 (2・3号遺構) 不明遺構1基 (1号遺構)	縄文土器	5	-	第5次調査
29号機	新規発見遺跡 (西戸類家IV遺跡)	6	溝状土坑3基 (2・3・5号遺構) 不明遺構4基 (1・4・6・7号遺構)	-	-	-	第5次調査

第2表 試掘調査結果一覧

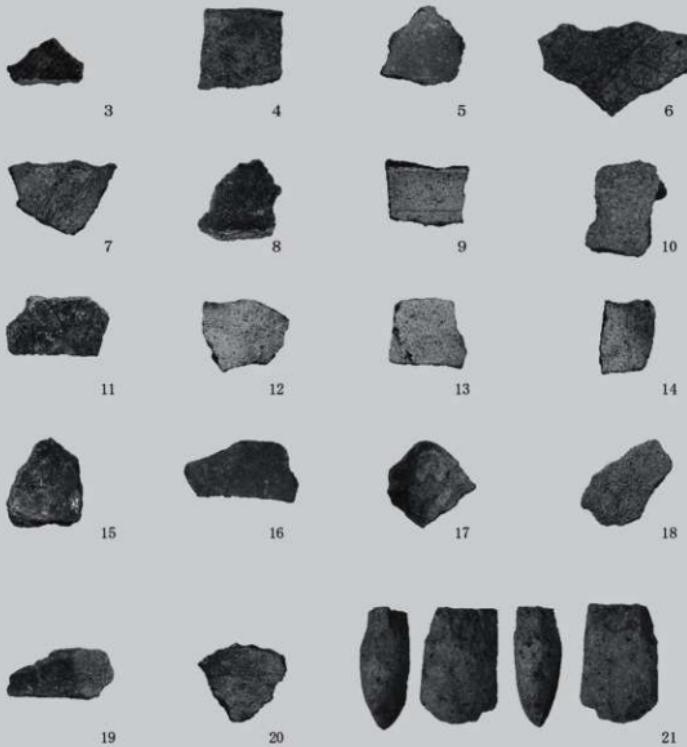


第9図 新規発見の遺跡位置図

4号機



6号機



0 1:3 10cm

写真図版1 出土遺物

6号機



22



23



24

10号機



25



26

0 1:2 6cm

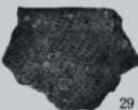
14号機



27



28



29



30

0 1:2 6cm

19号機



31



32

26号機



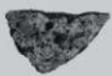
33



34



35



36



37

0 1:3 10cm

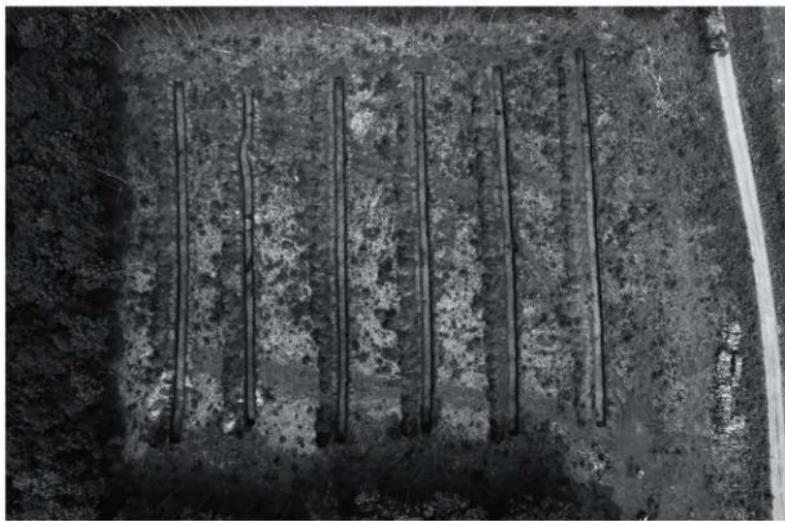
写真図版2 出土遺物

№	写真図版番号	風車番号	出土地点 (トレンチ名)	種別・部位	計測値 (mm)			備考
					口径	器高	底径	
1	写真図版 1-1	4号機	A	縄文土器・胴部	—	—	—	
2	写真図版 1-3	6号機	A	縄文土器・胴部	—	—	—	
3	写真図版 1-4	6号機	表採	縄文土器・口縁部	—	—	—	
4	写真図版 1-5	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
5	写真図版 1-6	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
6	写真図版 1-7	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
7	写真図版 1-8	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
8	写真図版 1-9	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
9	写真図版 1-10	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
10	写真図版 1-11	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
11	写真図版 1-12	6号機	表採	縄文土器・口縁部	—	—	—	
12	写真図版 1-13	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
13	写真図版 1-14	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
14	写真図版 1-15	6号機	表採	縄文土器・底部	—	—	—	
15	写真図版 1-16	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
16	写真図版 1-17	6号機	表採	縄文土器・口縁部	—	—	—	
17	写真図版 1-18	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
18	写真図版 1-19	6号機	表採	縄文土器・底部	—	—	—	
19	写真図版 1-20	6号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
20	写真図版 2-27	14号機	C	縄文土器・胴部	—	—	—	
21	写真図版 2-28	14号機	D	縄文土器・胴部	—	—	—	
22	写真図版 2-29	14号機	D	縄文土器・口縁部	—	—	—	
23	写真図版 2-30	14号機	D	縄文土器・胴部	—	—	—	
24	写真図版 2-31	19号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
25	写真図版 2-32	19号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
26	写真図版 2-33	26号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
27	写真図版 2-34	26号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
28	写真図版 2-35	26号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
29	写真図版 2-36	26号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	
30	写真図版 2-37	26号機	表採	縄文土器・胴部	—	—	—	

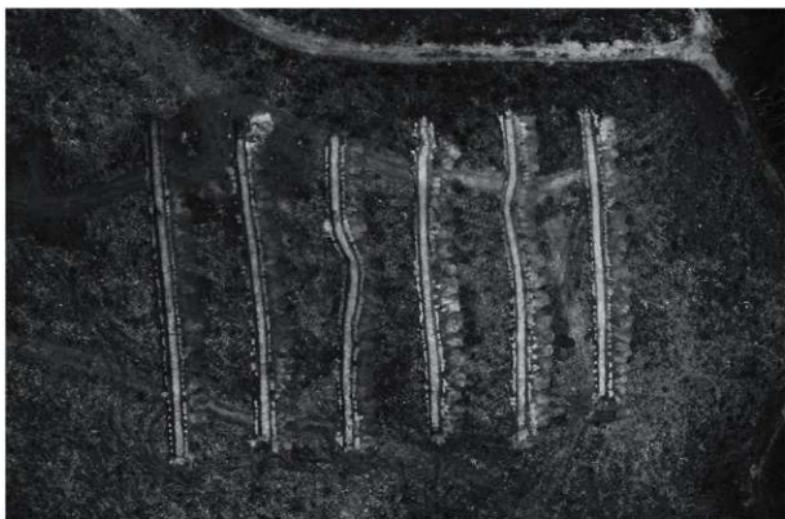
第3表 出土遺物観察表（土器）

№	写真図版番号	風車番号	出土地点 (トレンチ名)	器種	計測値 (mm)			重量 (g)	石質	備考
					長さ	幅	厚さ			
1	写真図版 1-2	4号機	表採	磨石	101	59	51	453	砂岩	Fトレンチ付近表採
2	写真図版 1-21	6号機	C	石斧	69	41.5	28	140.1	安山岩	基部欠損
3	写真図版 2-22	6号機	表採	石斧	103	57	42	335.5	花崗岩	基部欠損
4	写真図版 2-23	6号機	表採	磨石	83	74	28	277	安山岩	
5	写真図版 2-24	6号機	表採	石斧	73	43	26	136.9	頁岩	基部欠損
6	写真図版 2-25	10号機	C	磨石	96	78	70	682	砂岩	
7	写真図版 2-26	10号機	D	剥片	38	22	6	4.2	安山岩	

第4表 出土遺物観察表（石器）



4号機



6号機

写真図版3 第4次調査地全景